京城日報

朝刊と合せて十二頁

定價 一部金[illegible] 一箇月金六拾五錢 三箇月金壹圓九拾錢 [illegible]
廣告料 五號活字一行金七拾錢 [illegible]
發行兼編輯人 [illegible] 印刷人 [illegible] 京城太平通一丁目
發行所 合資會社 京城日報社 電話 [illegible] 振替貯金口座京城三〇〇番

金剛山遊記

蘇峰生（口述筆記）

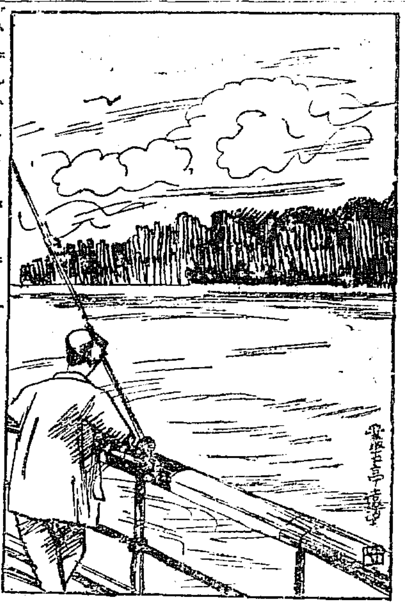
二、海金剛の奇勝の一瞥

遊覽の一般方略＝元山までは道々の態＝成鏡丸＝曉の叢石亭＝痛み入つたる有難さ＝海中魔王＝長箭港外の好景＝

金剛山を觀るには、自ら遊覽の一般方略を定め置く必要がある。綏り見物するには、一箇月の日子も、或は十分で無いかも知れん。併かし、雜と見物するには、四五日もあれば澤山である。若し、道路の便が都合よく出來、汽車と自動車との連絡、若くは汽車と汽船との聯絡が付いたならば、中一日で、內金剛なり外金剛なり其一を見ることが出來、中二日もあれば、双方共に見ることが出來るであらう。吾等は、往復を除き中三日で見物を濟ますといふ豫定の計畫を定めたのである。

そこで、先づ十月十一日午前、元山行の汽車に乘り込んだのである。ところが、幸か不幸か、其日は大阪神戸の遊覽團體が元山まで逝く可く乘り込み居て、吾等は尠からざる雜踏の中に捲き込まれたのである。且つ又、朝來泣き出しさうの天氣が、乘り込んだ當座は、日の目も一寸見えたが、鐵原邊よりだん／＼怪しくなり、釋王寺に至れば愈本降となつた。元山に著いた頃は篠突く雨となつた。吾等は、雨と、遊覽團體とに惱まされつゝ、這々の態にて、元山の旅亭に小憩し、成鏡丸に乘り込んだのは、其夜の十時頃であつた。しかるに、雜踏は何處迄も著き纒ひ、船客滿員、予は漸く船長の部屋にて一夜を明かすことを得た。船に乘り込んだまゝ熟睡したれば、何時出帆したるか知らず、十二日の早朝、起き出でゝ見れば、船は港でもなきところに懸り居て動かず、是れは不思議なりとて、船員に訊ぬれば、貴君方に叢石亭といふ海中の奇景を觀覽せしむるため、殊更に船を停めたるなりといふ。是れは痛み入つたる有難さなり。吾等は、前夜、朝鮮郵船會社の石川元山支店長より、さる噂もありたれども、前途を急ぐ身なれば、定期通り午前五時頃に長箭港に到著せんことを望み、その好意を謝しつゝ、其儀に及ばざる旨、篤と斷り置きたる甲斐も無く、斯かる態たらくで、今更致し方なく、起き出でゝ、船橋の上に立ち、所謂叢石亭を眺めたのである。叢石亭は、海金剛の一部とも云ふ可きであつて、朝鮮人は天下無二の奇觀など、言うて居る。成る程、

玄武岩が櫛の齒を立てたる如く、其高さ四五丈或は二三十丈、一の半島をなして、海中に突出し、其の上には、まゝ、松が生ひて居るなど、一寸、面白からぬこともないけれども、海中の奇景を見るに慣れたる吾等に於ては、未だ必しも、定期の航海船を特別に停めて見物せねばならぬ程のものとも思はぬのである。但、此際、同船したる鳥取縣人、奥田龜造君が此の附近に漁場を有し、即今、鰤、鯖などを盛んに大敷網にて漁獲しつゝある話を聞き、頗る痛快に感じたのである。奥田君は、日本に於けるトロール船の元祖であつたが、失敗の經驗は自らし、成功は後より來るものに讓り、君は却て、日高氏が日本各所の沿海にて成功しつゝある大敷網の用可きを思ひ、先づ之を互濟島附近に試み、其潮流の激甚なるため散々に失敗し、却て江原道の沿岸や成鏡南北道の沿岸に於て、今は成功しつゝあり、此附近に於ては、海中の魔王と稱へられ、盛に、海底の鱗族を征伐し、今回は、岸上水產博士を從ひ、其他の人々を驅り催して、鰤々を見物せしむる計畫にて、その漁獲の現場を見物せしむる計畫にて、予に向つても、懇切に同行を誘はれたれども、予の此行は、豫定の計畫ありて、途中に道草を採るを許さず、其ため、不本意ながらも、奥田君の厚意を謝して、長箭港に上陸したるは、豫定の午前五時にはあらで九時である。此の四時間の損は、叢石亭を見物するための代價であつて、前途の計畫には尠からざる齟齬を來したのである。唯、船の長箭港に近づく頃は、夜來の宿霧漸く霽れ行き、**金剛山の霜白峰は、碧昊を劈きて聳立し、雲は其の間隙を縫ひ綴り、**所謂瑞雲靉靆、山を擁し、仙山とは斯かるものにやあらんと思はるゝ程であつた。是れで、所謂、海金剛を見ざる遺憾の若干を償ひ得たと思ふ。



金剛山スケッチ（二） 前川千帆

◎支那憲法制定期

一時的の骨抜きか＝數年間は制定せぬか＝

一那憲法に付き憲政共進會中には國會解決と同時に制定すべしと主張するものと冷靜なる態度を持するものとの二派あり請願連合會にては之れに付何等表示する處なきが某憲法起草委員は茲一二年間には制定せざるべしと語れり一般にても袁氏皇帝たると同時に勅令にて日本の例を採り數年後國會を召集し完全なる憲法を制定する旨發表し專政たらんと觀測し居れり要するに一時骨抜き憲法を制定するか茲數年間制定せざるか目下の問題なり（北京特電）

◎米兵增員

華盛頓來電に依ればウヰルソン大統領は陸兵十萬を增員し豫備兵四十萬を作らんとする擴案を提議したり陸海軍擴張費を包含する追加豫算は二千百萬磅にして議會は之れが通過すべしと豫期せらる（倫敦電報）

始政五年記念 共進會授賞式

景福宮裡會衆二千余前の盛觀を呈す

始政五年記念朝鮮物產共進會々期中に於ける最後の盛典たる褒賞授與式は十七日午前十時半より景福宮勤政殿に於て行はれたり當日式場に參列せしは支那特別來賓外國領事團朝鮮貴族、文武百官民間有志並に出品人併せて二千餘名にして午前十時には全員會場に參集して開式を待つ、定刻に至り嚠喨たる喇叭の清音響き渡や山縣事務總長の先導にて寺內總督は李王殿下李埈公殿下を御案內して諸員肅然敬禮の裡に式場に入り正面階段より玉座兩殿下初め供奉員一同著席、君ケ代の吹奏ありて兒玉事務委員長開會を告げ審査長山縣政務總監は總督に對し出品審査の次第を具して褒賞及び功勞賞を授與せんことを申請す其辭に曰く

審査長稟請辭

茲に本日を卜し始政五年記念朝鮮物產共進會褒賞授與式を擧げらる不肖嚢に任を審査長に承け爾來各審査部長以下審査職員の幫助精勵に依り總出品人員一萬八千九百七十六人點數四萬二千二十六點中參考品其の他を除き出品人員一萬七千五百六十一名點數二萬五千三百七十三點を反覆審査して名譽金牌二十名金牌百七十三名銀牌六百九十九名銅牌千七百零三名褒狀四千三百七十名合計六千九百六十五名を撰擇せり尙由來朝鮮の開發に貢獻して功績多き者を表彰する爲授賞せらるべき功勞賞該當者二十九名を特選せり是等授賞者鮮人の多數を占むるは最も欣ぶべきの現象也今回の出品たる獨り其の物產を現示するのみならず凡百の施設經營を的確に紹介して遺憾無く進步發達の形跡歷然として一場の裡に窺ふ可し然れども仔細に點檢せば技工の拙劣なるもの資用に遺きもの舊習を墨守するもの學理の應用未だ完からざるもの等ありて將來一層研鑽淬勵を要するもの多し尙茲に一言すべきは參考品にして其の點數七千九百二十九點を算し朝鮮產業の爲に稗補する所尠からず審査の狀況及び其結果に就ては別に審査概評を具して閣下の觀覽に供すべし茲に其の梗概を叙へ擬賞名簿を呈し以て褒賞授與せられむことを稟請す

山縣審査長の申請に應じて寺內總督は次の式辭を朗讀す

總督式辭

始政五年記念朝鮮物產共進會出品の審査結了し本日褒賞授與式を擧くるを得るは本官の欣幸とする所なり之を審査の結果に徵するに品質の改善、技工の進步產業の發達等其の成績大に賞すへきものありて是れ官民一致其の職に淬勵したるの結果にして朝鮮の勤業上洵に慶すへきの事たり

然れども顧みて稽ふるに朝鮮の產業は尙低度にして改善の將來に待ち成效を他日に期するもの頗る多し今回閑院宮殿下の本會に台臨あらせ給ふや既往の成功を嘉し將來の昌運を念ひ特に產業獎勵資金として金圓を下賜せらる一般官民は此優渥なる恩恵に感激して倍々業務を勵み國家に貢獻する所なかる可らず

今回の受賞者は其の名譽を自重して一層勉勵し他の出品者も亦優劣の由て別るゝ所以を考察して愈々發奮努力すべし蓋共進會の目的は產業獎勵に存し褒賞の趣旨亦之に外ならざればなり庶幾くば諸子克く此心を以て自から警め官民力を協せて產を治め業を勵み以て國家の富強に資せむことを一言希望を叙べて式辭とす

△褒功賞の授與

式辭畢りて總督は[illegible]の順序に應じて授賞者に對し手から褒賞及び功勞賞を授與す此日の受賞者は名譽金牌二十名、金牌百七十三名、銀牌六百九十九名、銅牌千七百三名、褒狀四千三百七十名にして其[illegible]れば茲に略す授賞授與の次第は名譽金牌、金牌、銀牌、銅牌、褒狀、功勞賞の順序にて各代表者は姓名の讀み上げらるゝに從て登壇各賞狀を受領す、全部の授賞終了するや京畿道長官檜垣直右氏は各道長官を代表して登壇祝詞を述べ次に[illegible]として[illegible]は段上に於て[illegible]民間[illegible]後[illegible]木內重四郎氏の[illegible]て目出度く式を畢り兒玉事務委員長より式終了を告げ奏樂の裡に李王殿下李埈公殿下總督以下退場時に十一時三十分なり暫時休憩の後正午第一爆竹にて慶會樓に設けたる大食堂に於て祝宴を開き席上君ケ代の奏樂に伴れ寺內總督の發聲にて天皇陛下の萬歳を三唱して宴を撤し其れより第二爆竹にて園遊會場を開き主客歡を盡して二時散會せり

□共進會入場者

十六日（土曜日、晴）

△晝間 九千八百二十三人
內地人 二、八二八 朝鮮人 五、一九〇 支那人 四八 其他の外人 五二 無料者 一、七〇五

△夜間 五千九十八人
內地人 二、四五一 朝鮮人 二、六五八 支那人 一〇 其他の外人 一七 無料者 九六二

合計 一萬八千五百二十八人
開場以來累計 六十萬八千三百六十八人

◎木內氏歡迎會

貴族院議員木內重四郎氏の入京を機とし石塚、宇佐美兩長官、兒玉局長、趙重應子、吉原東拓總裁等の諸氏發起となり十九日午後六時半より花月に於て官民有志の同氏歡迎會を催す由、參會希望者は十八日中に總督府農商工部長官附屬室へ申込まれたしと

◎尾崎柳澤兩氏招待

京城協贊會にては十七日午後六時飛行家尾崎行輝氏及び帝國飛行協會主事澤柳少佐を花月に招待し慰勞宴を張る

人事消息

△中部鐵道管理局視察團一行 十七日內地より入京天眞樓巴城館高千閣旭旅館京城ホテル原金へ分宿
△本田博士（水原模範場長） 十七日入京
△古在農學博士一行 十七日入京巴城館
△寺尾貴次郎氏（新義州稅關長） 十七日入京東京旅館へ

◎號外

十七日午後一時共進會出品物審査發表の號外を發行し一般諸君に速報したり右號外は本紙に再錄せざるを以て保存せられたし

萬歲旛頒布定價表

略號	名稱	品種	調製概略	寸法（曲尺）	一流の價格	郵送料
い	奉祝揭揚旛	甲	金巾製捺染文字金具付	巾一尺六寸 長三尺二寸	六拾錢	十二錢
		乙	同 兩面上製	巾一尺六寸 長三尺二寸	一圓十錢	十二錢
		丙	絹縮交織豊錦金文字釣紐金具付	巾一尺六寸五分 長四尺	五圓	十八錢
		丁	純絹別織同上 特製	巾一尺六寸五分 長四尺	八圓五十錢	十八錢
		戊	同 特別製 大形	巾三尺 長八尺	三十圓	三十錢
ろ	記念掛額		純絹羽二重製金文字	巾五寸六分 長一尺二寸二分	五十錢	三十枚迄拾二錢
は	奉祝佩用旛		純絹羽二重製飾ピン付	巾一寸三分 長二寸七分	二錢	八百枚迄十二錢
に	奉祝小旛		金巾製捺染白文字	巾七寸五分 長一尺三寸	四錢	六十枚迄十二錢
ほ	特製劒付塗竿		黒塗千段巻竿銀色劒付	長五尺五寸	一本一圓五十錢	十八錢

□特製國旗揭揚器發賣 門司市田中竹次郎製造
定價壹個金五拾錢
△御大典の期間は申す迄もなく其他の祭日に國旗を揭揚するには本器を使用すれば取扱の便と裝飾用とを兼ね至極重寶の品なり

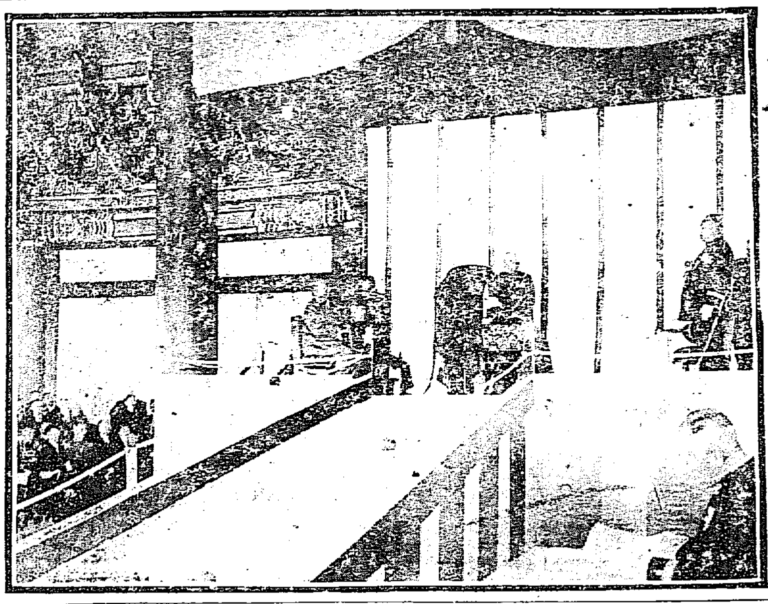
御大典の期日切迫して參りました、千載一遇の御大典には必らず此萬歲旛を揭揚して奉祝せねばなりませぬ時機を逸せぬ様に御注文を希望します

萬歲奉祝會
朝鮮一手販賣
京城日報社代理部
振替京城三〇〇番

清酒 罐詰類 乾物類 雜穀類 海產物類 漆器類 家具類
鰹節 什器類 箱火鉢 膳椀 細工 素麺 東京澤庵
昆布 金物類 ストーブ レコベル 履物類 荒物類 文具類
農具 紙類 花筵 煙草 木炭 石油 石炭
國旗提灯

仁川新町 津田兄弟屋
青島四方町十四號地 津田兄弟屋出張店
電話七六二番 振替京城三八九番

時間表 （南行） （北行） （南行） [illegible]


大共進會褒賞授與式

勤政殿前歡聲湧く
褒賞授與式と婦人子供デー

秋晴れの十七日の日曜日には共進會では褒賞授與の盛典に據て加へて協贊會主催の婦人デーあり市中は挙げて京城神社の秋祭りを祝ひ朝まだきより漢陽公園と共進會場の兩所より

打上ぐる煙火の

音勇ましく八時よりは一時間餘に亘つて三重號が最後の訪問飛行を京城の空際に試むあり滿都悦に湧き返つた。午前九時を告ぐる頃から光化門通は褒賞授與式に列す可き文武官、紳士さては全道より參れる出品者が絡繹として俥に、馬車に打續いて入場に急ぐと見れば景日燈籠の兩側には婦人子供デーを目指す夫人令嬢等の色美しきパラソル波を爲し紅紫のリボン蝶の群とばかりに雜つてゐる。かくて褒賞授與式に參ずる者は光化門、西門より其他の人々は迎秋門より雪崩を打つて入れば時しも爆音轟々と共進會の上空を飛翔せる三重號は低く〳〵旋回飛行をなし機上より市民の

幸福を祝す可く

撒布する紙片は宛がら白銀花と散る如く群集の喝采止まず褒賞授與式々場なる勤政殿は閑院宮殿下台臨の時の儘にして、天蓋の掲を紫の布もて卷き、階段の上に斜めに板を敷き布を覆ひ上向を容易ならしむ、十時近き頃警備ものものしき中を山縣事務總長の先導にて寺內總督は李王殿下李堈公殿下と共に文武官を隨へて式場に登り一同肅として脫帽起立すれば茲に

君が代の奏樂を

以て式は始められ貴賓席なる中華民國二十七師長張作霖氏農商部次長金邦平氏張恕吉林巡按署課長等を始め來京中の諸名士其他の來賓の綺羅燦たる中に樂聲徐かに流れ行き光景森嚴壯麗を極む、樂終れば石塚事務委員長開會を告げ、山縣審査長賞並びに功勞賞の授與を申請し、寺內總督立つて式辭を朗讀すれば續いて褒賞授與の榮譽に浴せる出品人名は高らかに呼ばれ川崎藤太郎氏富田儀作氏等名譽金牌の受領者二十名、金牌受領者百七十三名、銀牌六百九十九名、銅牌千七百零三名、褒狀四千三百七十名、功勞賞二十九名に對する賞狀授與され畢りて道長官總代檜垣京畿道長官壇上に現れ祝辭を朗讀し張二十七師長、金農商部次長の祝辭あり、授賞者總代の答辭あり之にて石塚事務委員長式終了の旨を告げ奏樂裡に李王殿下御歸還ありつゞいて一同は

慶會樓なる宴會

場に向ふ、慶會樓は紅白のだんだら幕に包み二千の招待者に對する酒肴白卓の間に用意されゼラニユーム、ダリヤ、菊花芳しく咲き亂れ樓畔の池には白鳥群れ遊び奏樂瀏喨たる中に席定まれば山縣政務總監の挨拶あり一同起立の裡に 君が代の奏樂終れば寺內總督の發聲にて 天皇陛下の萬歲を三唱し次いで吉原協贊會長の發聲にて共進會の萬歲を三唱、一同歡を盡して思ひ〳〵に園遊會場に歩を移す醉香亭畔池を廻つて各種の模擬店は設らへられ

池中には輕舟に

美姬を乘せて浮べるあり模擬店中燒蛤でんがく殊の外の大人氣にて歡語、笑聲湧くやうである、一方十二時褒賞授與式を終ると共に各館は觀覽を許され、先づ寺內總督の馬車一列にて退場歸邸し、佳賓相前後して去り園遊會の崩れの人々は各陳列館協贊會場、本日より福引大賣出しを開始せる賣店の間に滿ち溢れたる賑ひ云はん方なく此日午前中の入場者は

實に一萬五千人

餘に達した、一方朝早くから入場した婦人達は門口にてクラブ化粧入りのトランクを、少年諸君は廣告の輕を一人殘らず貰ひ、滿飾されたる場內を如何にも面白げに愉快げに彷徉し、或は婦人子供デーの休憩所に當てられたる角力館內に入りて茶菓の饗應を受けたりなどして樂しく過し日曜の共進會場は開會式當日以來の賑ひであつた

さらば吾が愛する京城よ
秋空に榮ねし三重號の告別飛行

本月一日から京城の空中に姿を現はした飛行家尾崎行輝氏のモーリス、ファルマン氏複葉飛行機は氣流の關係や機體の都合で前後九回飛行した其最後の告別飛行とあつて

□十七日午前の飛行は殊に美事の飛行振り□

を示し朝暾に雄姿を輝やかし碧空に推進機の唸りを響かした此日機影が飛行前から期待しきつて飛行場の周圍に群集した觀客の眼に入つたのは午前八時を少し廻つた頃で格納庫前から滑走約八秒にして離陸したのは八時二十七分、機影は漢江を橫切つて鷺梁津ゐたりの空中迄南行し大回轉を行つて一路北に向ひ共進會に最後の告別訪問を爲した秋空一碧微塵もなく朝暾燁々として機影鮮かにプロペラアの響き凄まじく鳴り響いた機は上舵を執りつゝ高度千二百米突で白雲臺を越え

□千五百米突の高度に昇騰して共進會上に旋回□

しつゝ降下して來た機がヌーボー式の波紋でも描く樣に共進會場上空を旋回して下向又下向其回數十六回に及んだ時には高度僅に百米突に降下してゐた共進會場に雲集した人々は機上に安坐して微笑を浮べてゐる尾崎氏の顏容さへも明瞭に認め得た、

低くて完全な見事な飛行を終り午前九時三十七分無事飛行場に著陸した飛行時間一時間十分最高千五百米突最低百米突と記錄せられた著陸した尾崎氏は往訪の記者に語る――

□今日の飛行は今迄飛んだ一番長い時と同じ□

長さで高さは千五百が最上でした白雲臺を此前千六百で越して餘り高いと思ひましたから今日は三百米突許り低くしたのです最低は旋回の最後の時でしたが京城日報の上を二百米突許り共進會は百米突許りになつてました無論危險事も無からうと思ひましたが東亞煙草の廣告搭は避けて飛んだ位でした――と元氣頗る旺盛である

秋を祝ぐ祭の賑ひ
神輿巷を練つて龍山へ遷幸

秋氣清く澄んで碧瑠璃の卑空一片の浮雲さへ止めぬ十七日、市民の守護神吉例の京城神社の大祭が行はれた爀々の旭日がほの暗い松林の間に美しく輝きそめた午前八時となれば、緋の袍に紫の袴を穿いて

△黃金造りの太刀

を佩いて冠りを戴いた谷村齋主中村委員總長その他色樣々の衣冠を著けた齋員並びに各係員と共に著床此の時大麻司は大麻を執つて祭主以下の諸員神馬、神幸供奉輿丁、白丁等を修祓し、それから神饌幣帛を獻じ玉串の捧獻があり、諸員の拜禮があつて神饌を撤して式を了へた、此の時、此の日を名殘りに尾崎行輝氏の三重號は爆々たるプロペラーも樂を立てゝ神殿の上空にその雄姿を現はし百米突餘の低空を數回旋回飛行して奉祝の意を表したので並居る

△諸員は狂喜し

てこれを迎へたが、宛かも輿丁數十名に擔せられて神輿の發幸せんとした時、機は更に降下し來つたので、輿丁は一齊に喝采して之れに答へたのであつた斯くて發渡の幸先き最もよく厳かなる警蹕の聲、瀏喨たる奏樂の裡に神殿を御發幸、錢垂衣の荒武者、白丁淺黃色の素袍を著けた伶人二名、白丁の捧げた神社の紋章を現した高張、大太鼓先導となり、大麻御號旗天狗面に狩衣を著た

猿田彥、烏帽子狩衣の前

驅神饌之れに續き、その他兵櫛、唐櫃、各幡、大鼓に次いで金色燦然として、秋の日に映發する

△神々しき神輿

は十數名の警備係、烏帽子を戴き白衣を著た消防夫六十名に昇がれ、その後には白丁二名の口取り俵鞍を置いた白毛の神馬首を垂れて之れに從がひ、谷村齋主中村委員總長乘馬にて之れに續けば白丁數名長柄傘を翳し齋主以下齋員八名は腕車にて續き、次ぎに出口、和田、森、釘本、金澤等の各理事馬車に乘つて隨がひ、それに續いて氏子總代府協議員、府接組合會議員、商業會議所議員その他の委員各係徒歩で隨ひ威風堂々と繰出した、道は擬定の通り倭城臺町を立花總長官邸、總督官邸の前を

△揉みに揉んで

日出學校前に休息、政務總監官邸前を練つて十一時新町御休息所に著、此處で修祓があつて狹い

本町通を無事に練つて、

永樂町角、府廳前で休息、正午南大門驛前に著、神輿は貴賓待合室前に安置し、齋主以下の諸員は京城協贊會、團體休憩所內で休息晝飯を喫し午後二時發幸、古市町靑葉町から舊龍山に練り込んだのは三時過ぎだつた(午後三時記)

京城府廳前の神輿

家庭博に出場する竹西女史

竹西女史
十八日夜ゟ家庭博にて即席揮毫

朝鮮女流畫家にして泂上第一の才媛と稱せられて居る竹西女史は十八日より毎日夜七時から家庭博樓上に出張して觀客の求めに從ふて

即席揮毫

に應ずることゝなつた、竹西女史は有名なる平壤の家にして曾て東京に出遊して大に其名聲を擅したる故梁石然先生の弟子となり繪にして出藍の譽れ高く長ずるに及び益々其筆神に入り女史の最も得意とする蘭の如きは全く梁先生の筆致其儘なりとの評あり其他

四君子

梅、蘭の如き頗る雅致に富み書も亦頗る巧である女史の艷麗花も羞ぢらう顏ばせに被朝鮮頭巾を冠りたる飾り氣のなき風姿は一入奧床しく十八日夜よりの家庭博には更に花を添ゆる觀があるだらう

特別寫眞

活寫界の大呼ものたる名優尾上松之助出演の松平騷動は當座の初舞臺に提供す映畫の鮮明と背景の優雅は御觀覽の御評判に俟つ
至急供覽 電話五七八番 壽座

日曜の賑ひ

十七日の日曜と祭日の重つたお休み日、一片の浮雲だもない秋空瑠璃の如うに晴れ〳〵とした日和であつたゝめ著初めの袷の褄も輕く朝の九時から家庭博觀覽の

婦人連

は恰さら櫛の齒を引く如く其れは〳〵大變な賑ひ、此日は京城神社の御大祭と云ふので仁川其他の沿線からのお客が多く、連れた市中の人が多く、一號館の瓦斯風呂に不思議の鏡、二號館と三號館のお臺所、さては養老室から五號館の

子供の抱き方

と背負方など何れも女の爲めに出品の事とて皆々に詳しい觀方『妾の家では斯う〳〵て居ます成程斯樣に改良すればよいのですな』など其れ〴〵啓發する所がある、後庭では家庭博餘興の

景品が又大繁昌、

一等から三等までの景品も能く出たが番外景品には此日から奇拔なものが殖え場內賣店のお汁粉が當つて之れは何より結構と喜ぶ下戶黨櫻正宗みな當てゝ喜ぶ上戶黨、秩父屋の秩父バツク、松坂屋の朧タオルなどは婦人に大持て、本景品も番外景品の重なるものは未だ澤山殘つて居るから今夜から明日明後日には隨分出ることだらう

鏡臺 髪を黑く長く つやを出し ふけ痒みを防ぐ事妙 椿香油

東西南北

▲柏桶で嫁入り 相州足柄下郡下曾我村字原富田德太郎の三男金藏(二三)と同村……となり二十一日ひでの屍體を納めた柏桶を德太郎方へ迎へ金藏の柏桶と打並べ親戚故舊を招いて結婚の式を……

……機を起し毎夜火防警戒中なるが右は四十年程前に小田原で犬が屋根に登……

……許される可哀人とのキッスも拘擁も許される極めて自由であるさうなさ……

……銀光閃くと見る間に香魚目掛けて躍り上つた三間餘の怪魚あり長級の……

……に死んだ此怪魚は俗に根通しと言ふ極めて獰猛な魚族であるさうな▲力……

……其方除けに蚊帳中に彼の大きな……驅を小さく踞まる熊ヶ谷と放駒は猫……

十月十八日 晴
日出 六時四十一分 日入 五時三十七分

演藝案內

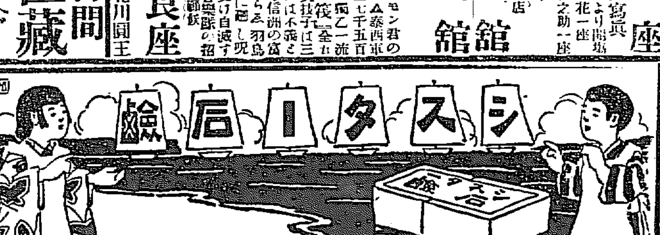
町 壽座 電話五七八
鮮明優雅、出新奇拔大活動寫眞
□來る十八日晝十二時より夜午後五時より開場
▲新派『人の思』上中下 喜劇 立花一座
▲舊派『松平騷動』上中下 尾上松之助一座
▲泰西探偵劇『闇黑城』上、中、下
天然色活動寫眞株式會社特約 一手代理店
黃金町四丁目 電話二六三七 黃金館
龍山停車場前 電話(龍山)四二番 龍光館
十月十三日よりの三大寫眞
▲十月十八日より全部差換
○實寫白耳義軍東海岸の慘狀 ○滑稽シモン君の軍事通信員 ○喜劇『偶然が起つたら』▲泰西軍事大活劇『鐵壁』原名覺めたる兒戲 全七千五百尺▲戰爭と戀を語りさながらに修飾せる稀乙一流の日曜ましき活劇なり◎新派悲劇『花筏』全五千尺……
龍山 佐久良座
▲本月十五日初日向三日間浪花節
▲讀物(櫻義民傳岳士傳)長講二席 花川圓王
益好評跡三日間 大正館の忠臣藏 絕對日延べせず
町 御成座 電話二九一
▲三十五回特藝題
(一)孝か不孝か 兄殺し 全一場
(二)舊劇膝栗毛彌次喜太綱 全九場
……
櫻井町 大正館 電話八七三番
▲十月十三日より臨時特別大興行
▲好評大好評を博し到る所に於て大入滿員を占めたる實錄忠臣藏大寫眞は今回更に赤穗誠忠錄に基き新に增補大改訂を加へたる大正四年度新撮影
▲日活會社專屬俳優尾上松之助 市川延一郎合同大一座總員二百名出演
實錄忠臣藏全通し
明治町 浪花館 電話二六〇番
特別大興行 東京落語大一座桂小南一行來る
東京落語界に新聞……共進會開催を好機とし東京落語界一流の人者……
有樂館 本町一 電話二六六 新築落成
十月十五日より大寫眞提供
……舊劇『賴の綱』……▲佛國エクレール會社……▲日活會社……伊太利チエリオ會社……○泰西人情劇『愛の歌』全二巻……

葬具萬般整頓罷在り斯業に經驗深き者專ら業に當り如何なる御儀式にも決して差間無之候
京城大和町一丁目(總監部通)
大和葬儀舍 電話二四三八番

旭町二丁目(名古屋城下) 電話一五六七番
株式會社 京城葬儀社
本社は支店出張所等無之に付御用の節は直接御用命願上候
靈柩馬車設備有之候
二川星車 中河原重吉
電話九五七番 井上芳太郎

弟恒雄儀病氣中の處今曉死去候に付此段謹告候也
赤平良一

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も鄭重に迅速と可嘆親切を旨とし御高需に應せん
京城日報社 寫眞製版部



蒙處分論 クロパトキン將軍原著 日本大井包高譯 定價金一圓 郵稅本社負擔
京城日報代理部 振替貯金京城三〇〇番

銀牌受賞者

朝鮮物産共進會

朝鮮物産共進會に於て名譽金牌及び金牌受賞者は十七日號外の如くなるが銀牌及び功勞賞受賞者は如左

▲第一部　農業

米

玄米　京畿水原　金烟弁
同　同　洪昌裕
同　同振威　高濟恒
同　同水原　金顯權
同　同龍仁　鄭漢基
同　同水原　洪思喆
同　同振威　振威農業株式會社
同　忠北永同　宋任舜
同　同沃川　宋秉政
同　同槐山　林白雲
同　忠南公州　崔龜浩
同　忠南扶餘　金鍾五
同　同唐津　韓鎭宅
同　同　金基鴻
同　同天安　金振行
同　同公州　李俊鎬
同　同牙山　張倫植
同　全北金堤　鄭完旱
同　同益山　片桐和三
同　同金堤　田尻才撤
同　同沃溝　森谷元一
同　同　崔戍燁
同　同金堤　趙完汝
同　同沃溝　島谷八十八
同　同益山　今村農塲
同　同金堤　日置宗辰
同　同益山　加藤秀孟
同　同金堤　國武秀雄
同　全北益山　細川農塲
同　同金堤　李在鎬
同　同沃溝　吳錫斗
同　全南長城　金昌中
同　同長興　方時浩
同　同靈巖　金背鉉
同　同長興　長興國有地小作人組合
同　同木浦　藤田農業株式會社
同　同長興　尹至夏
同　同長城　金華玉
同　同　金模
同　同木浦　朝鮮農業株式會社
同　同興　鄭海默
同　羅州　金昌順
同　同　鄭成喆
同　同麗水　麗水地方金融組合
同　慶北金泉　南相哲
同　同聞慶　井上綾登
同　同慶州　古田覺平
同　同金泉　岩田平之助
同　同尙州　孫鍵敬
同　慶南晋州　千基弘
同　同東萊　佐藤三藏
同　同昌原　都築乙吉
同　同金海　藤田柳太
同　黃海鳳山　金觀豊
同　平南中和　崔根孝
精米　江原鐵原郡農事試作地
同　京城　待井三郎
同　仁川　庄野精米塲
同　全北群山　森菊五郎
同　全南木浦　福田有造
同　京畿利川　孫振萬
大麥　同振威　柳東烈
同　忠北忠州　朴文奎
同　同　李愚玉
同　同　申飫玖
同　全南濟州島　金昌謙
同　同　李琦和
大麥、小麥　慶北醴山　宮野卯太郎
大麥　同　李甫作
同　同　金東旭
同　同　安應淳
同　同　陸相漢
同　同尙州　金欽澤
同　同　吳翰珠
同　同蔚山　愼守一
同　慶南河東　趙東晧
同　江原江陵　尹相覺
小麥　咸北茂山　金秉郁
同　京畿始興　趙南震
同　忠北丹陽　池鶴九

同　忠南瑞山　盧龍九
裸麥　慶北義城　姜逸賢
同　全北錦山　金泰浩
同　慶南居昌　吳在運
粟　同密陽　金宗鎬
同　黃海平山　重松德次郎
同　同海州　曹永煥
同　平南江西　宋英稜
蜀黍　江原麟蹄　鄭鎭極
大豆　同　李種發
同　全北金堤　尹相般
同　全南潭陽　角谷吉松
同　全南潭陽　久保邦太郎
同　黃海谷山　徐亨動
同　同　李敎榮
同　同　李云在
同　同　羅燦郁
同　咸北明川　李林秀
同　咸北明川　金元浩
同　同　沈慶洙
同　同　許亨基
同　同吉州　李鐘英
同　同　張日元
同　同　李鎭洙
同　同　鄭彰煥
同　同　金城國
同　同　許鍾鋼
同　同　李溥晋
同　同　梁壹源
同　同　金禹鉉
同　同　瞿利龍
同　同　鄭應鉉
同　同城津　黃文律
同　黃海新溪　呂興豹
同　同　李公福
同　同　廉致瑞
同　咸南咸興　廉泳福
同　平北義州　閔信鎭
同　同　張瞬祐
大豆　平北義州　金麟瑞
大豆　咸南咸興　定野秀一
同　黃海遂安　金在源
同　同遂安　張元弼
同　黃海谷山　李河倫
同　平南安州　王龍得
同　江原橫城　安周鎭
同　咸南咸興　全仁錫
同　平北江界? 　朱榮哲
同　江原伊川　李雲培
小豆　慶北永川　李萬洙
同　忠北報恩　元忠一
同　京畿抱川　全鍾麟
同　忠北淸州　姜晋模
同　平南江東　李奎相
同　黃海　徐相壹
同　忠北沃川　李柱元
同　全北全州　韓泰吳
同　全南求禮　權炳驟
同　慶南宜寧　徐背烈
同　慶北尙州　朴基治
落花生　平北義州　川合主一
實棉　同　卞榮奎
同　麗水　權判同
同　同　吳進泳
同　同　金永奎
同　同　高濟烈
同　同　翟敬明
同　同　郭採善
同　同　金處仁
同　同　全秉明
同　同　俞國濬
同　同　金文若
同　同　李致榮
同　同　金宗鐵
同　全南和順　習丙煥
同　同　金彩河
同　全南宜寧　金昌祐
同　慶南宜寧　李孝舜
同　平南江東　朱基觀
同　京畿龍仁　高濟弼
葉煙草　同　李晚承
同　同　宋圭東
同　黃海瑞興　翟鴻運
同　忠北槐山　朴泰煥
同　同　黃奎欽
同　同谷山　朴基龍
同　同　金昌龍
同　黃海谷山　盧琦恒
葉煙草　同　金之澤
同　同　張星煥
同　黃海谷山　金宅建

同　同瑞興　金德龍
同　同遂安　邊承夏
同　同陽德　石履鐊
同　同成川　尹萬翊
同　平南成川　洪禮涉
同　同　朴章構
同　江原麟蹄　劉鎬錫
同　同　池碧祚
同　同　李衡作
同　忠北忠州　金圭郎
黃色種　慶北大邱　星旗作
同　同　開野平八郎
內地種　慶南昌寧　野澤悌一郎
同　同　岩本慶吉
新世界　京城　宋壽天
口付紙卷煙草　慶北大邱　森本攸太郎
卷煙草　同　大石勘吉
口付紙　慶南釜山　村上宇三（釜山煙草株式會社）
同　京畿開城　李兩一
同　同　曹秉先
白參　同　孔聖學
同　同　黃柱東
同　全北錦山　朴宇鉉
同　同　任甲準
同　京畿高陽　任桂準
同　慶北尙州　院內嘉太郎
同　忠南舒川　金載敏
同　咸北慶源　河漢九
除蟲菊　慶南居昌　崔鍾勳
莞草　全北井邑　趙永煥
麻　咸南登山　金大坤
大麻　京畿富川　鄭興國
苧麻　同仁川　松田正一
同　忠北淸州　平山松太郎
苹果　京畿富川　倉島要平
同　慶南東萊　正文孫一郎
同　同密陽　名出香一
同　同昌平　伊藤彌八
同　同　秋田新三郎
同　京畿富川　田中千太郎
同　忠北淸州　弘益殖産株式會社
同　咸北鏡城　寺澤捨次郎
同　京畿水原　下國良之助
同　慶北金泉　池田政司
同　京畿高陽　山田七三
同　同安城　前田伊三郎
同　同高陽　內田義二
同　平南鎭南浦　鳥越久則
同　慶南金海　吉田要三
同　全北群山　平野嘉七
同　京畿高陽　松本深藏
同　慶北大邱　長永福造
同　京城　橋本吉藏
同　慶南密陽　秋本いわ
同　咸南咸興　岡戶久吉
同　京畿高陽　藤川佐兵衛
同　同富川　岩金松藏
同　同水原　徐光祖
同　慶南昌原　福田健次
同　江原蔚珍　金達壽
同　黃海海州　翟景台
同　咸北城津　朴廷律
同　京畿富川　金顯光
同　忠南燕岐　鎭西萬三
同　江原橫城　林善有
同　京畿高陽　內田藤之助
同　忠南扶餘　杉甲一郎
同　全北全州　杉江平太郎
同　平南大同　山口豊松
同　慶南釜山　中島鶴太郎
同　忠北永同　奧田清三郎
同　同陰城　牧田潤一
同　京畿開城　梁萬永
同　同廣州　田中吉太郎
同　京畿始興　山上長次郎
同　同　三井爲祐
同　慶北金泉　城井惟隆
同　同榮州　榮州郡蠶業組合
同　京畿抱川　李漢奎
同　同安城　濱田たみ
同　同加平　張錫顯
同　忠北陰城　趙熙祿
同　同淸州　鈴木みき
同　忠北忠州　鄭雲霸
同　忠南大田　金容璇
同　同鎭山　鄭寅赫
同　全北南原　金奉鎭
同　全南光州　翟亨植
同　慶北聞慶　金象鎬
同　同漆谷　張柄敎

同　同　家蠶絲
同　同　柞蠶絲
鷄　牛　牛皮　豚　蒸製骨粉肥料　綠肥　搾粕　大豆粕　備中鍬　蠶箔　叺　筵　踏車　石拔唐箕　農業の方法及成績

同　全南光州　陝川　伊藤庄之助（慶南釜山）
申碩基　同陝川
黃雲京　平北慈城
中田友治　平南平壤
沈載昱　慶南公州
鄭燦玉　慶北沃川
朝鮮勸農株式會社　慶南釜山
土井米吉　京城
荒井牧塲　京城
白石鐵二郎　忠南大田
白南信　全北全州
今村農塲　同益山
桝富農塲　同
安井武二　全南羅州
金海畜産組合　慶南金海
佐谷浦太郎　同釜山
安城女子私立傳習所　同
明治農會　黃海黃州
朝鮮興業株式會社黃州支店　同
平壤畜産組合　同
金承哲　同江西
多田榮吉　平北新義州

▲第二部　拓殖

移民の募集、移住民の監督の方法及成績
米穀地開墾の計畫及成績
水利灌漑事業の計畫及成績

細川農塲　全北大塲
愛媛縣移住者總代　伊佐業男　同群山
長崎縣移住漁民總代　山本桃吉　慶南泗川
野坂茂三郎　京畿振威
末永省二　同仁川
小林澄　忠南論山
青木健次郎　全南麗島
大塚升次郎　慶北迎日
不二農塲　平北龍川
面長朴泰秉　京畿抱川
全益水利組合　全北益山
李泰鉉　平北龍川
郭基厚　忠北淸州
崔大建　咸北吉州
井上傳次郎　全北全州
苗木　種子

▲第三部　林業

閔泳致　同
渡邊文治　京畿京城
今村農塲　全北益山
不二興業株式會社全北農塲　同
魏三奉　全南光陽
金忠熙　慶南咸興
川口鹿助　慶南晋州
伊川郡畜産組合　江原伊川
荒木香兵衛　全南海南
金仮埴　慶北金泉
大田郡畜産組合　忠南大田
金相說　京畿抱川
任基賢　平北義州
平壤畜産組合　平南平壤
密陽郡畜産組合　慶南密陽
栁橋清吉　高陽
赤荻與三郎　同
池田喜美　京畿京城
西島庄助　平北義州
蘇敬伊　慶北大邱
全州私立女子傳習所　全北全州
徐秉奭　京畿京城
金鍾應　江原襄陽
金榮元　平南安州
白龍雲　同
李元哲　黃海新溪
島田開吉　慶南密陽
李圭執　同
權承七　同
黃萬潤　同
宋寅學　同
金泉郡蠶業組合　慶北金泉
朴福陽　慶北慶州
共同飼育所

キリ　同　佐藤三藏　全南光州
キリ　內田錄雄　平南平壤
檜木器具柄　河濟信吉　慶南釜山
ヤナギ板　磯崎庸助　同
紅松材　橋詰傳　同
落葉松板　得能增太郎　平北義州
マダケ　李相純　全南光州
同　李陽洪　同
同　增田大吉　咸北鏡城
同　川上菊次　同
白炭　淺見淺吉　同
同　岩田正巳　咸北淸津
黑炭　鄭洛敎　全南光州
椎茸　金容圭　同
漆液　李鍾玉　同
造林の方法　李鍾勳　慶北慶州
造林及保護の成績　和田三四郎　同
造林の方法並保護　鄭日熙　忠南論山
造林及保護成績　鄭乃根　平北雲山
造林の成績　劉東根　江原平康
竹林經營の成績　藤田寬二郎　同
森林の方法及保護の成績　元致ろ　全南濟州島
森林保護の成績　廣澤文庫　黃海長淵
筏　[illegible]　忠北淸州

▲第四部　鑛業

金鑛業　翟鑿天　全北長水
同　鄭學永　京畿加平
同　張明晃　平北龜州
同　齋藤一　全南羅州
金鑛業　朴永根　全北全州
同　淸水繁太郎　京畿京城
同　閔□　京城
同　白性敬　同
金銀銅鑛業　竹下庚之　京城
同　金塔鉉　同
鐵鑛業　西山吉兵衛　同
同　弘益殖産株式會社　京畿
黑鉛鑛業　堀三太郎　平北宣川
同　安與四郎　平南安州
同　谷口與四郎　平北宣川
同　松井民治郎　平南平壤
石炭鑛業　齋藤新太郎　平北鐵山
同　永瀨得樹　慶北清津
同　石井久三　慶南釜山
重石採取業　李聖玉　平北雲山
同　安田豊治　平北新義州
花崗岩採取業　成興炭鑛株式會社　咸南成興
同　秋重德太郎　咸北會寧
玉石採取業　牧山耕藏　京畿京城
滑石採取業　三井鑛山株式會社
硅砂採取業　古城菅山　慶北京城
同　井上久藏　京畿高陽
同　清水浦之助　京畿京城
同　岩瀨靜　慶北大邱
同　端川玉石製造組合　成南端川
同　作乙良組合
同　竹下篤次郎　京畿京城
同　青木佐市　全南海南
同　伊藤關太郎　全南木浦

▲第五部　水產

海參　日野助八　江原江陵
同　山口清一八　成南元山
鮑　渡邊新一
同　龜谷愛介
乾鰕　中村又左エ門　全南濟州島
同　藤野金太郎　慶南晋陽
淡菜　神野勘五郎　京畿統營
乾鰮　濱本哲三郎　同江陵
田作　福田松太郎　慶南釜山
乾鰕　韓宗瑞　同東萊
同　寶田寅一　同統營
同　吉富雪太郎　全南麗水
鍚　岡崎増太郎　同高陽
乾烏賊　桐岡金三　慶南釜山
乾鰊　朴晦燿　平南安州
鰊鮨　李世宮　平北宣川
同　山本悅藏　全南濟州島
同　金正安　同麗水
同　丸谷藤松　江原通川
同　吉村彌太郎　全南濟州島
乾明太魚　千原勘兵衛　慶南釜山
同　河相洛　成南北青

乾章魚　宋順吉　咸興
同　李八龍　咸北吉州
魚　尹鳳周　江原杆城
同　鄭仁淑　全南務安
鹽石首魚　金相妥　黃海海州
同　金永淑　全南海南
鹽大刀魚　谷口太郎
同　板谷城之助
鹽鯖　池斗行
鹽鰮　金殷環
鹽乾鰮　山本百悅藏
鹽火魚　中島百藏
和布　曹喜貞平
同　佐藤一
袋網　田士文一
石花菜　金文涉
海苔　李聖瑞
羊栖菜　黃璟瑞
鰹節　吉田能次郎
蒲鉾　金淳翼
同　吳谷友一
同　重森敬治
子　石文贊
海藻　高甲得
煉製　具甲平助
乾海鼠　山內太郎
鯖缶詰　香椎源太郎
延縄　宮川良水
養魚池模型（金魚の養殖）　李東植
大敷網模型　金萬汝
防寒網模型　松本達藏
四歩一式小臺網模型　金林小一郎
鰤大敷網模型　杉林小一郎
同　金道叔
同　具斗政
角網模型　安雲
駐木網及び漁船模型　池末登一郎
漁撈模型　飯田榮藏
鰹池曳網模型　尾前直太郎
葛網地　戶田はつ
絹糸網地　荒川留重郎
四歩一式小臺網模型　四歩一興助
角網模型　角輪組
同　淸津漁業組合
同　柳成浩
方法及成績　中村重吉
事業成績　河成泰
取製造の模型　中島竹次郎
潛水器作業裝置　統營漁具株式會社
鈎　兒島漁具株式會社
太刀魚延縄　張容堅
鈎　巨濟漁業組合

▲第六部　工業

絹織物　三陸部內漁業組合
同　金山潜水業組合
同　玉木信助
同　韓慶玉
絹織物　水原染織組合
絹織物瓦斯緞　崔奎顯
同　秋小英
刺繡屛風　裵允錫
刺繡　晉州風下機業傳習所
同　東萊機業傳習所
同　張寶榮
足袋　羅州機業傳習所
同　盧洪錫
フェルト　浪大鎬
テーブル掛　麻生やす
靴下　笹野一雄
同　シンガーミシン會社朝鮮中央店
同　金錫華
同　岩本末三郎
春布　大山合名會社
同　日本ウール紡績株式會社京城支店
同　笠原商店
同　瀨戶勝兵衛
同　林致敬
同　金英培
同　白樂濟
同　金和惠
春布　公州實業協會

麻布　金鎭漢　慶北安東
同　金丙漢
絹織物　徐武鎬
同倭紗　李小振
同明紬　朴永華
同允羅　林たつ
絹紬交織物　李景秀
同　趙倬衍
新木綿物　酒井幸平
造花盛籠春草　金連伊
木綿紋織物　吳天然
綿織物　崔昌軾
永興改良紬　朱鳳瑞
麻布　金泓曉
同　海市商會
同　金奎鉉
同　姜成洪
花瓶　朱東淑
大接　稻葉登茂作
沙鉢　松本徳藏
大飯　丸尾甚吉
土管　長島綱吉
煉瓦　岡田久藏
瓦　小野喬一郎
硝子壺付大皿　藤本釗太郎
五分ホヤ　長谷川和三郎
石灰　倉掛喜三太
貝殼灰　早川平次郎
形ドバケツ　宗興元
亞鉛引手桶　赤羽宗吉
白銅製燭臺　金相煥
大理石製洗面器　糸岐平藏
印刷用鑄造機　釘本藤次郎
純銀銚子　藤田林五郎
亞鉛引龜甲網　李昌叔
ストーブ　林千年次
白銅製火鉢　青木佐市
茶用風呂付湯釜　尹章烈
鑛石製花瓶　朴明淑
銀盃　卓翼朝
眞鍮製火鉢　金聲逸
裝飾用金具　金利根
小鐘　白康珍
釜　桂義助
同　稻葉茂作
煖爐　白山金屬
水晶製風鎭　金元三
玉石製煙草入　李中啓
同　辻太市
篩　岩崎亦三郎
同　柳行李製造所
人力車　卞鎬南
刷毛　黃性允
柳行李　趙性旭
莞席　橫山權作
同　光陽工業傳習所
木通製煙盞　朴貞洙
桑籠　卓錫朝
提籃　朴稷壽
唐文匣　田園燦
飯床器　金昌熙
大冊床　廣昌號
アンペラ　生駒富三
途油紙　鷹野園治
紙函　水原製紙組合
同　朝田芳平
團扇及扇子　李日
和紙及朝鮮紙　金禹錫
同　石龍盛
朝鮮紙　金慶採
朝鮮紙　金漢元
同　李時雨
同　徐準永
同　盧性榮
同　共同製紙所　南孝泳
同　李民傳
同　申鉉福
同　安熙濟

苔紙　李孟根　慶北陝川
和紙　林浴周　全北
同　金九銘　慶北慶州
同　木下宇平
三千本膠　上田數平
ボックス革　魯相直
マッチ（大）　渡邊文治
マッチ（小）　本田巽
女兒石鹼　東亞製燧社
樟腦革　天神伊三
洋蠟燭　加茂清吉
下駄　金錫箱
同　多治比安藏
同　井上てる
同　伊藤乙彥
靴　伊藤忠八
同　木原市郎
同　伊藤興市郎
同　金學淳
同　林相浩
刷毛　吉田政次郎
彫衣箱　松本小助
葡萄硯　延箕元
寫眞帖　金恩植
清酒　大谷合名會社
同　岩崎亦三郎
同　李永華
同　岩田
朝鮮燒酎　宋秉鼎
內地式燒酎　日韓印刷株式會社
支那燒酎　千葉春樹
醬油　深見勝三郎
同　堀きみの
同　平井寬錄
同　韓壽德
味噌　金光酒造合資會社
麵子　吉岡庄左衛門
高麗人參糖　辻謙之助
小輪金平糖　阪野鍊之助
菓子　柳原虎松
同　內田彌三郎
同　堀田ます
同　孫昌謙
水飴　井上宜文
太白朝鮮飴　貴木忠太
藥饅頭　進辰馬
煉羊羹　廣瀨安太郎
羊羹　大沼清太郎
洋菓子　下江福松
カステーラ　平尾行一
滋養素麪　松井武三郎
素麪　中川勝太郎
ヂヤンピオンサイダー　西尾留之丞
白瓜奈良漬　椋木彥五郎
榮螺罐詰　堀內德次郎
同　北川重吉
鮑罐詰　横山忠之助
鱈罐詰　渡邊松一
米粉　山本淺吉
馬鈴薯澱粉　待井三郎
同　戶島祐次郎
同　植田虎一
同　濱野專太郎
同　吉田兼吉
同　石垣隈太郎
同　阿部豊吉
同　金炳俊

▲第八部　教育

教授訓練の方法及成績　平安南道　平壤公立師範小學校
同　江原道　鐵原公立普通學校
教授訓練の方法及成績　咸鏡北道　鏡城公立普通學校
國語科成績品　京畿道　京城高等普通學校附屬普通學校
同　京城公立高等女學校
農業科成績品　島山公立普通學校
同　京城高等普通學校
農業科成績品　全羅北道　全州公立農業學校
同　慶尙北道　大邱公立農業學校
同　慶尙南道　晋州公立農業學校
同　忠淸北道　淸州公立普通學校
同　慶尙南道　釜山公立普通學校
手工科成績品　江原道　春川公立農業學校
裁縫及手藝科成績品　黃海道　海州公立簡易工業學校
同　京畿道　京城女子高等普通學校
同　慶尙南道　釜山公立高等女學校
教師製作品　京城公立高等女學校　外一名

▲第九部　土木及交通

京畿道　京城府各公立普通學校　中村友男
同　同
一、沿革及成績、大同江沿革及成績　平南鎭南浦　鎭南浦浦口合會社
一、航路、燈臺、旗標、信號使用　平北義州　高羽秀吉
水道製造の成績及道路運送　京畿京城　內國通運株式會社京城支店

▲第十部　經濟

業務經營方法及成績　忠南大田　大田地方金融組合
同　全北鎭安　鎭安地方金融組合
同　全南順天　順天地方金融組合
同　慶北義城　義城地方金融組合
同　慶南居昌　居昌地方金融組合
同　江原原州　原州地方金融組合
同　咸北鏡城　鏡城地方金融組合
同　忠南牙山　牙山郡仁川面國有地小作人組合
同　忠南大田　大田郡鎭岑面國有地小作人組合
同　全北全州　全州郡國有地小作人組合
同　京畿仁川　仁川郡國有地小作人組合
同　同仁川　仁川穀物協會
同　同京城　朝鮮農業株式會社

▲第十一部　衛生及慈惠救濟

南大門市場ノ方法及成績
大邱西門市場ノ方法及成績　慶尙北道　大邱府
沙里院市場ノ設備方法及狀況　黃海鳳山　沙里院面
慈善事業　全南光州　私立光州濟衆院
兒童育成及教育事業　慶北慶城　財團法人慶北慈惠會

▲第十三部　美術及考古資料

平南平壤　私立平壤崇實學校　エス、ホール
日本畫　京畿京城　三浦廣洋
同　安中植
同　清水東雲
同　和田一海
洋畫　平南平壤　金觀鎬

◎功勞賞

◎銅牌◎褒狀以下略

朝鮮米石拔法　京畿京城　酒井勉
農業　京城　秦米
精米公共事業　奧田貞次郎
一般產業　大池忠助
同　李基升
水利灌漑　勝井寬太郎
農事經營
金鑛業　オリエンタル、コンソリデーテッド、マイニング、カンパニー
金鑛業砂金鑛業　式會社
金鑛業　穀山金鑛株式會社
鐵鑛及水運業　後藤一郎
砂鐵鑛業　富田儀作
水產業　西崎鶴太郎
教育
海運及衛生　大阪商船株式會社
海運業
金融及商業　大倉喜八郎
金融　尼崎伊三郎
同　韓相龍
同　朴永珍
同　李錫衡
同　孫鎭鳳
同　組完
同　自
慈善救濟　京城　市原盛宏
同　本願寺大谷派本願寺
同　潮光院

…で情死をしたが二人の屍體を發見した同村の石井朝太郎と云ふ男は當藏と德太郎の間を奔走して自ら媒妁人

▲擾起でも無い　大揚州小田原町背物町熊澤足袋店の屋根へ一匹の犬現はれたるを大火の前兆なりとて恐…

▲様な監獄　をして居るのであるさうな▲極樂の大監獄は喫煙も許され米國組育に今度建設され…

頭を突き刺す　舞鶴港西吉原の漁夫水島音藏（三）は五日午前三時頃舞鶴沖に出漁の歸るサ突如暗を破つて一條…て櫓櫂で怪魚を毆り附けた怪魚は突刺したる尺餘の嘴を折逸した儘海中に逃れ去つたが香藏は其負傷のため…

…の年寄は出羽の海）は雷鳴を恐るいことは甚だしく遠くでゴロ〳〵と鳴出しても其顏色を變へて相撲などは…が合はずガタ〳〵慄ひ出す

豫報

京城測候所　十七日午後二時　氣溫攝氏十八度…　前日中最高溫度攝氏二十四度九分　最低攝氏七度五分

滿潮（仁川）
十八日　午前…　午後…

日出　日入

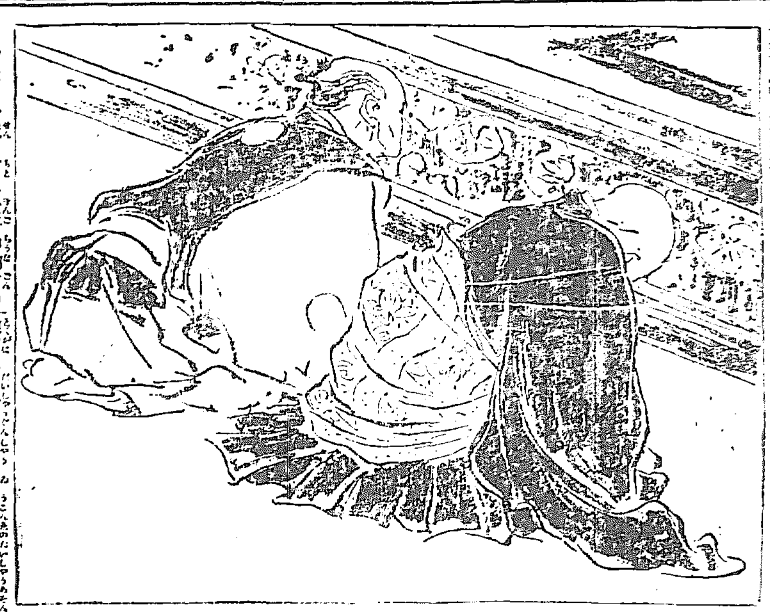
越後大評定

第十六席　早川貞水口演

秀康の不滿

結城中納言秀康公は、我朝の樊噲とも謂はれた程の御武勇の御方で御坐いますから、一手を以て下野國小山に御留まり遊ばし、如何なる大軍來るとも、御自身は一人たりとも通はせ參らせぬ、御心安く上方の賊徒を御討ち遊ばし、天下を一統なし給へと、快く御拜への大役を引請られた。それは御勇氣なる事で御坐いました、是れが爲め、終に上杉も[illegible]寄せることも能はずして、空しく關ヶ原の戰ひに間に合はず、[illegible]月十五日關ヶ原は天下分目の戰さた[illegible]

らず御家の御代を治めしむるは温厚にして寬仁なる秀忠最も然るべし、と[illegible]子を見ること親に若かず、內府の[illegible]眼識の通り、秀忠公は仁君で御坐いますから、既に御家督は秀忠公と決まり、結城中納言殿には、越前北ノ庄の城主、七十五萬石となりましたが[illegible]結城殿は御不滿であるけれども、[illegible]の御[illegible]御坐いますから仕方がない[illegible]井城へ御乘込になると、[illegible]大名に、[illegible]に在はする結城公を[illegible]見て、心密かに敬服して居る、[illegible]秀忠公は[illegible]二年京都へ御[illegible]治[illegible]に征夷大將軍に[illegible]源氏長者[illegible]



って、たゞ一戰の下に金吾中納言の裏切から、瞬く間に關西方敗軍、そこで關東御勝利となりましたに依つて、玆にそれ〴〵味方を致した大小名に御恩賞がありました、其時に大久保彥左衛門、天海僧正の兩人が德川內府家康公の御前へ出て『恐れながら此の如く關ヶ原の御戰ひ、御勝利となりました以上は、正は天下は泰平、德川家の一手に歸しまして御坐る、就きましては、御世嗣なくては能はぬに依り、德川二代の御相續御定めあつて然るべし、順に申せば一旦豐臣家へ御養子と相成りたる結城中納言殿は、泰平の御代を治むべき治世の君にあらず、是は御二男秀忠公を以て、御家督仰せ付けられ然る可く存じ奉る』家の道理の儀なり秀康は氣象濶達、亂世の武將には宜けれども、平時の君としては其器にあ

德川二代將軍正二位右近衛大將朝臣秀忠と御宣下を拜し、目出度御歸城江戸表御本丸に御住居、日本國中の大小名殘らず江戸城へ參勤、將軍御宣下拜賀の御禮を申し上げる、所が西國大名は皆其戻りには態々越前福井へ廻り秀康公の御機嫌伺ひに出る

其御武勇は大したもので、既に福井には西國橋などと云ふ橋があつて、其橋から西國大名は皆登城すると云ふ有樣、此の如き御勢ひで御坐いますから越前中納言、どうしても江戸將軍へ對し宣下拜賀の御禮に御出なさらぬ、然るに御家の忠臣、銘々申

し上げたのは『兎に角德川二代將軍宣下拜賀の御禮申上げて然るべく』と數度の諫言、秀康公は兄でありながら越前福井に七十五萬石の秀忠公は弟で將軍の御位、ちと面白くない御大量の方であるから、御不滿を忍んで『然らば江戸城へ參勤拜賀に罷り出る』と仰せられ、愈越前福井御出立、暁府へ御居での大御所、この注進を得て『さては秀康も機嫌を直し、拜賀の禮に出でたるか、[illegible]し心中思ひ遣らるゝ』と御[illegible]から心中にも憫然に思召た、此方は[illegible]中御道中御無事御乘込み其勢[illegible]して江戸へ御着、まづ江戸御屋敷へ御入り遊ばし、是より[illegible]家[illegible]

五百年來家傳製法
一家の經濟は御臺所にあり
安くて滋養になるのは
三味噌
に限り升、電話にて御注文被下候はゞ直ぐ御届致し升
京城太平通二丁目
遠藤商店
電話九八二番

皮徽科
皮膚病　徽毒　淋病　膀胱病　生殖器　機能障碍
京城明治町二丁目（旧町名元町）
佐藤醫院
（電話一一七三番）
入院隨意（診察夜九時迄）
日曜祭日午後二時迄

顏の日が決つて、拜賀の御禮として御登城になつた、弟たる將軍秀忠公は正面二重疊の上へ兄たる秀康公は猫疊三疊ほど下り、兩手を支へ是は〳〵將軍家には麗はしき態を拜し、恐悅至極に存じ奉る、三河秀康[illegible]今參著、拜賀の御禮申し上げ奉る

十月十九日九星
酉　九月十一日　癸未
本命　五黃　八方　納　先勝

▲五黃　誰のとけぬ事有日　新事見合南方は吉　御なし▲六白　歷和の日　帰居入學命件求職[illegible]名弘　用湯紛約会貨柴歡萬吉▲七赤　讀んなる[illegible]轉居行商　入門名弘　求職建築婚禮及耕地を[illegible]る　婚萬吉▲八白　割りのつかぬ事有日　新事手[illegible]移事は吉　一切の勝用を忌む▲九紫　首尾よき[illegible]轉居旅行入門　求職命名婚姻婚[illegible]和[illegible]等萬吉▲一白　厄ぬけのする事有日往意[illegible]俳籍事闘戰は妨なし▲二黑　有かた　謀戀の[illegible]日新事手控　旅事長旅は妨なし▲三碧　水臭き[illegible]し有日新事手控旅事は吉　一切のせわ事せぬかよし▲四綠　育眼和逸ひを生ぜんとす　新事手控[illegible]は古貨物に用心せらるべし

胃が丈夫

であれば、體力も强健になる、頭腦も明晰になる、而して有ゆる活動にも艱難にも容易に堪へ得る樣に成る胃を丈夫にするには、我陸海軍の五大軍醫が合議して製劑た、健胃劑中の王と云はるゝ胃活を服むに限る。

定價　胃活（瓶）壹圓、六十五錢、四十五錢、廿五錢、十錢　胃活錠（瓶）壹圓、五拾錢、廿錢　名藥店にあり
本舖　東京日本橋本銀町山田安民藥房　大阪南久寶寺町二山田安民藥房

◎毛布購求者に告ぐ

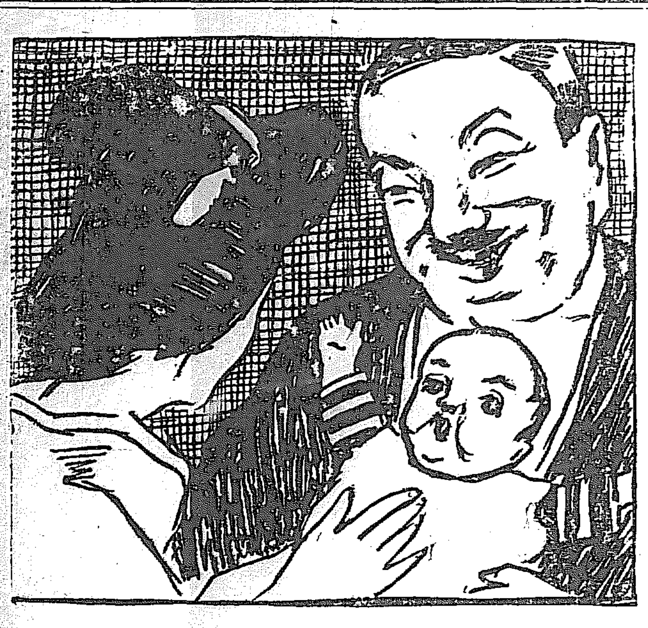
近來反物及毛布の投賣續出せし爲我社は讀者の爲信用ある商店を種々調査したるが大阪市東區上本町五丁目東洋商會が最も確實なる事を取調べ現今同商會は防寒並に旅行用鼠毛布極上大判二枚續き壹組八拾錢同特別最優等壹組武圓八十錢白毛布極上大判二枚續き壹組武圓七拾錢同特別最優等壹組參圓七拾錢（ラクダ）毛布特別大判二枚續き壹組四圓五十錢云格安價十八金色の御大典記念徽章（桐箱入）一組一個宛景品として相添へ投賣を始めたが何れも其前代未曾有の安價と品質の良さとは大歡迎を博し、目下同商會は地方の顧客に特に便利の圖り希望者は（ハガキ）で申込めば代金引替小包郵便で送付し品物の責任を負ひ且取替も適當に應ずる特に無割引で他品交換は返金する由なれば地方の人は安心して注文する事を得べし

◎急告

◎梅毒に罹り中南門病院[illegible]唯一九[illegible]梅毒藥は[illegible]多年の經驗と[illegible]更に梅毒[illegible]
專門藥　唯一丸　なき方は速に此良藥により不安を去られよ
◎全國有名藥店にて販賣せり
三日分四十錢一週間分八十錢二週間分三圓特製九圓十三圓一ヶ月分五圓
梅毒養生法　無代進呈　送料四錢
發賣元　東京市牛込區神樂坂上　中西藥局　振替東京千五百番

秋のぬけ毛止
發頭毛に就て院長の信用は世間の知る處也　試み玉へ其他新式白色劑にきびそばかすの美顏料くせ毛藥等一切說明書郵券三錢要
東京駿河臺袋町九電本一七七一番　東京美容院

◎家庭　衛生的　經濟的　アルボース　消毒石鹸



小兒の肥へ太る
國產　子供印　滋養糖

滋養糖の育兒用としての價値は既に專門醫學者の實驗と賞讃とに依り保證せらるゝ通り之を牛乳や母乳代用品に混和して用ひらるれば効果著大なり

健康と長命は此二者に依り保證せらるる!!

大人の肥へ太る
文明的調味料
味の素

味の素は平山藥學博士を始め諸博士の證明される通り人体に最も必要な諸原素から出來たもので常に之を召上つて居れば知らず不識の間に營養となる

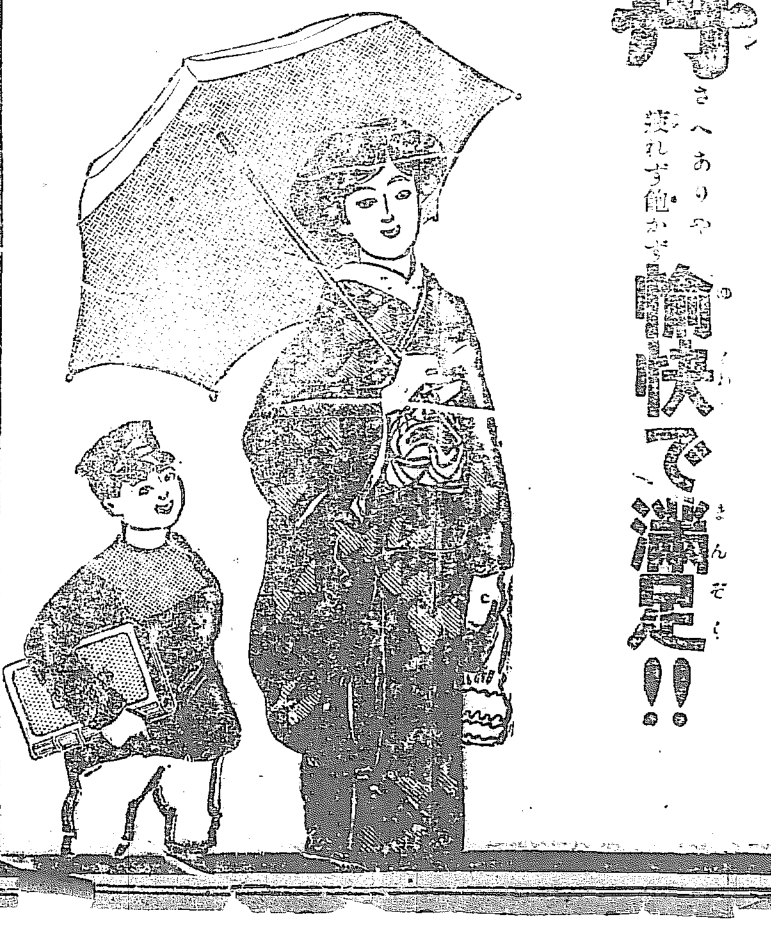
小兒の腸胃を整へ體力を增し老人病人等に用ひて消化吸收を助け衰弱を快復する牛乳に混和さる滋養料

小麥より精製せる純白の粉末で美味と滋養に富み且つ使用法輕便にして一般家庭に於る重寶な調味料

味の素子供印滋養糖
本舖　鈴木商店
東京一大阪
各地食料品店に販賣す

京城の共進會へ!
仁丹さへありや疲れず飽かず愉快で滿足!!

仁丹主効
船車の酔……仁丹廿粒
頭痛目眩……仁丹五粒
水傷下痢……仁丹八粒
寝冷腹痛……仁丹十五粒
悪疫豫防……仁丹五粒
悪醉術醉……仁丹十粒



金言
暇あらば利を得んとすれば節約であれ（伊藤東涯）
一日の計は朝にあり　[illegible]
健康は財資にして[illegible]節儉は富なり（西諺）

[illegible]六十八圓にして六月に比し[illegible]五百[illegible]圓を前年同期に比し[illegible]千四百六十八圓を各增加せり本月[illegible]旬に於て豆滿江增水あり爲に一時[illegible]十五圓粟六百八十[illegible]寺百六十六圓木材百九十圓其他[illegible]なり生牛は羅覯市場にて取引さ[illegible]供し過剩のものは間島[illegible]搬出せらるゝが淸津より琿春に至る水路の運賃は淸津より會寧經由間島[illegible]次に輸入は三千五百六圓にして六月に比し二千百十七圓昨年同期に比し[illegible]更紗金屬製品は露國產なりとす而して土里貿易は琿春貿易及び對露貿易[illegible]

[illegible]滿州郵便局にては今秋御大典記念として滿州住民の貯金組合を設けん爲め數日前より日鮮人に貯金の緊要なることを說示し局長以下局員は晝夜[illegible]

●東本願寺內紛和解

[illegible]總辭職をなしたる東本會計[illegible]務員は其の後同派の宿老數名の斡旋[illegible]南條文雄師を初め三河の和田圓介、石川舜、安藝の桑門思道、美濃の沼[illegible]京都の稻葉昌丸の六師出席し[illegible]遂げ當事者を見たり(大阪)

京城日報

年中無休刊
(第二千九百十四號)
本紙定價 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 猪口政太郎
京城太平町一丁目 發行所 合資會社 京城日報社
電話 [illegible] 振替貯金口座 [illegible]

朝鮮統治の成績

蘇峯生

第二 大方針の確立

朝鮮統治の成功に就て、第一の要素は、聖天子一視同仁の大御心を奉戴し、終始此の大方針を確守したるにあり。第二の要素は、之を徹底せしめんが爲めに、萬障を排して、猛進したるにあり。第三の要素は、朝鮮施政の基礎の確立する迄、漫りに其人を代へざりしにあり。

日韓併合の當初に於て、朝鮮は日本人の朝鮮なる乎、將た朝鮮人の朝鮮なる乎、日本人の爲めにする朝鮮なる乎、將た朝鮮人の爲めにする朝鮮なる乎の議論、隨分日鮮人間に湧き出でたり。而して朝鮮は畢竟日本人の爲めに併合したるもの也。若し朝鮮人の爲めにする朝鮮ならば、朝鮮人に一任して可也。何も日本より金錢を出し、役人を出し、兵士を出し、一切の負擔を引き受けて、之を統治せねばならぬ義務なき也との議論は、最も有力の一にして、其の勢動もすれば、日本內地の朝野を撼かさんとしたり。而して之に反し、固陋、頑冥なる朝鮮人中には、依然として朝鮮人の爲めの朝鮮なりと確信し、此が爲めに動もすれば排日思想に驅らせられて、其の方向を誤り、若しくは誤らんとしたるものありき。

但だ我が寺內總督は、當初より併合の詔書に明掲せられ、日月の天に麗るが如き、大御心を奉戴し、日鮮人の爲めの朝鮮、東洋平和の爲めの朝鮮、即ち專ら內地人の爲めならず、專ら朝鮮人の爲めならず、我が天皇陛下の子育孫撫し給ふ一視同仁の下にある、我が日鮮人の爲めの朝鮮とし、之を大にしては東洋平和の保障たる朝鮮として。敢て日人に偏せず、敢て鮮人に私せず。公々平々、正々、坦々の心を以て、我が總督府を統率し、此の新附の人民に臨めり。而して此が爲めに、物論は、却て日本人側より沸騰し來れり。或者は曰く寺內總督は、朝鮮人の總督にして、日本人の總督にあらず。彼は眼中只だ朝鮮人ありて、日本人なし。彼は實に莫迦正直也、彼は實に朝鮮貴族の爲めに籠絡せられたり。彼は實に朝鮮人の口車に乘れりと。然も我が寺內總督は、毫も其心を動かさゞりし也。何となれば彼は其非難者の心を憐めば也。蓋し此の日韓併合と云ふ千載一遇の好機に乘じて、好運を攫まんと欲する者の眼にては、公平の政治は、却て最も不公平の政治と映ずる也。片眼者より見れば、双眼者は、片輪に似たり。日人鮮人に對して、五分〳〵の政治を施すを見ては、其の十分を我に期待し、其の零分を他に分與せんとする者に於ては、固より滿足す可き樣もなき也。吾人は始政の第一年に於て、我が寺內總督が、日本人間に最も不人望の總督たりしことを明言するに憚からず。而して其の不人望の爲めに、一點一毫をも當初の大方針を動かさゞりし効果が、乃ち茲に聖天子の綏撫的御大心を遂行して、今日の効果を得たる所以なりと斷言せずんばあらず。

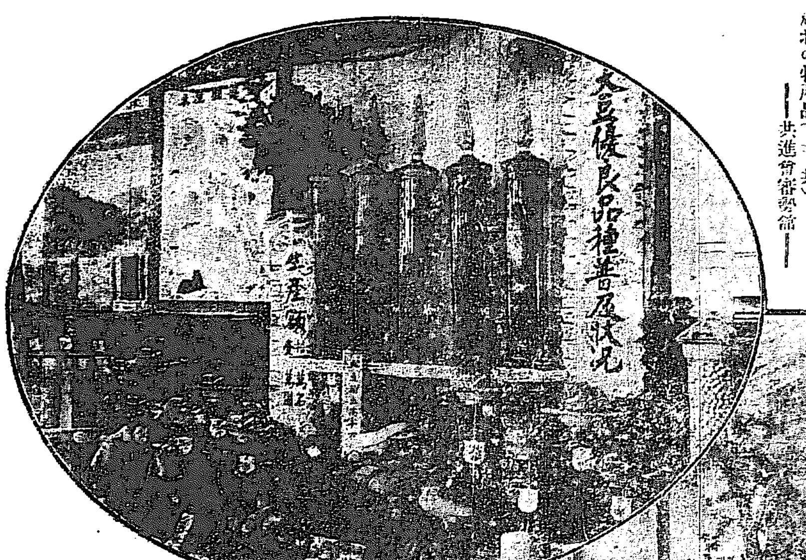
惟ふに最初より此の大方針を確立する、決して容易の事にあらず。唯だ我が日本帝國の建國的皇猷に通曉し、經世的大帝國主義の淵原に明達し、眼界を具へたるものにあらざるよりは、焉んぞ克く此の如くなるを得んや。然も方針一たび確立するも、若し榮辱の念外に馳せ、毀譽の情、內に熾なるに於ては、動もすれば其德を二三にするなきを必とせず。吾人は寺內伯が克く辛抱したるを嘉す。古人の所謂る其智には及ぶ可く、其愚には及ぶ可らずとは是れのみ。寺內伯の如きは、實に愚を以て成功したるものにあらずや。

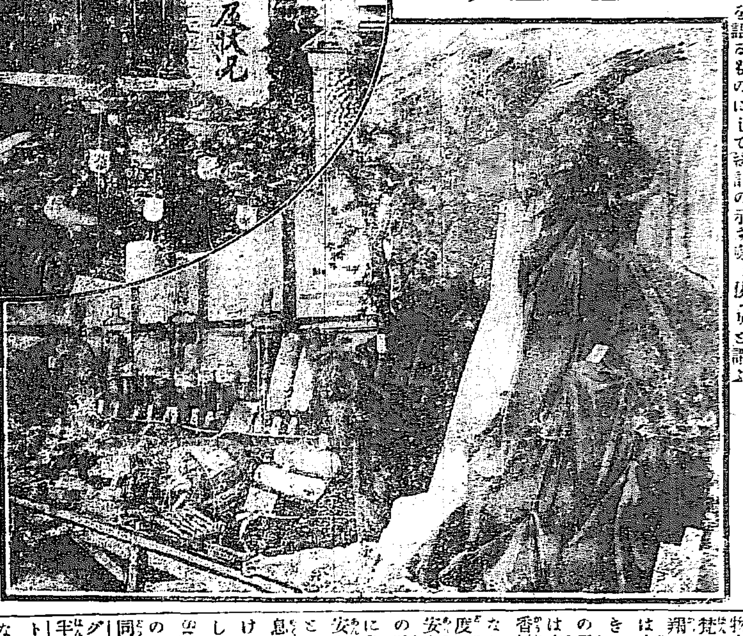
共進會出品概觀(廿)

審勢館(咸北道)

中央に据えたる地理模型には府郡の區域、都邑の位置、道路、河川、港灣の所在を示せる外、領海沿海州及び支那琿春、間島地方との交通並に貿易の關係等を明かにし、且つ模型上には標示を立て、道內主要の農產、水產、工產の種類、各產額並に茂山地方一帶の森林に繁生せる主要樹種等を表示し、尙ほ豆滿江流域延長百二十里の間に於ける伐木は筏と爲して江口慶興郡土里まで流下することを說明して一目以て地勢地理と共に道勢の大要をも窺知せしむ

周圍の陳列棚を回覽するに北關の中央に大豆を盛れる高さ三尺に餘る筒形五個の硝子罎には其の兩脇に(優良大豆普及狀況)(大豆產額十九萬石一百萬圓)と記せる刺繡の標示あり大豆は本道農產中最も主要の地位を占むることを現はし罎に盛れる優良種の分量比較に依りて優良種の逐年普及しつゝあるの狀況を了解せしむると共に其前には大豆を輸出向に包裝せる叺を陳べ之に輸出高十萬石と記したる標示を附して其の重要輸出品なることをも併せ展示せり、此の兩側には粟、稗、馬鈴薯、大麥、燕麥、蕎等を飾りて主要農產の種類と其の品質改良產額增進の成績を示せるが是等の標示に依るに大豆の產額は始政當時に於ては七十八萬圓なりしもの今や百萬圓に達し粟は二十五萬五千七百石より三十三萬五千九百石に上り稗は八萬二千八百石より十二萬七千二百石に大麥は十二萬二百石より十三萬七百石に燕麥は二萬一千九百石より五萬四千九百石に馬鈴薯は五百四十五萬五千貫より一千四十六萬四千圓に進み又繭の六十石は二百石に增加せり次に戶棚の左端に積上げたる大小數十種の材鑑は如何に本道が豐富なる林產を有するやの一班を語るものにして統計の示す處に依れば山野總面積百四十五萬町步中成林地八十一萬八千町を占めたり東側の陳列棚には左方に水產品、右方に工產品を陳列せり、而して水產に在りては一百哩の長きに亙る沿海の波なに於て漁獲せらるゝ明太魚、鯖、鰯を始め鯡、鱈、鰈、和布、昆布等の水產物及び之が漁獲に用ふる延繩其の他の漁具を陳べ、從前漁法幼稚なる時代に在りては漁獲高二十萬圓に過ぎざりしもの漁船漁具改良、獎勵の結果今や漁獲高四十萬圓を算するに至れる其の成績の一班を示し、工產に在りては著名なる麻布、城津紬等の織物、城津の石鍋、鐘城の硯、淸津の菲石其の他蓆草人、茶器、菓子器、印材等の玉石細工品並に石材大理石、花崗石等を陳列し中にも麻布の品質の改良と玉石細工品製法の進步とは共に見るべきものあり、說明に依れば麻布は古來農家の副業として管內到る處に產し近來品質の改良を見ると同時に鮮內各地に販路を有し年產額五十萬圓に達し、石細工亦技工大に進步して近來精巧なる製品を出すに至れるより其販路は漸次鮮內及び內地に擴まりつゝありと謂ふ





咸北の特產品(上下共)——共進會審勢館——

是等の外壁面に十數枚の圖表を揭げ敎育、土木、產業、洞契、貿易、稅務、貯蓄等に關する推移の狀況を示せるが就中畜牛の改良蕃殖を獎勵したる効果は著しく從前の五萬五千頭は躍進して十萬頭を算し、年々露領に輸出するもの一萬頭以上に及ぶも尙ほ逐年增殖の趨勢に在りといふ

閑餘隨錄

大谷光瑞

三、香(承前)

Jaiambusi と云ふ樹皮より得る香料は桂を第一とす花の條下に云ふが如く支那字の桂は二種あり今云ふ所は兩廣に產する桂と同屬のものにして Cinnamomum に屬し Osmanthus に非ず印度桂とや〻相異せり印度桂は Cinnamomum Zeylanicum と名けシーロンを原產とし今は印度各地に栽培せり然れ共最良品は依然シーロンの產出にかゝれり此樹全木香料を有すと雖も皮を第一とす金光明最勝王經の樹皮は即ち是にして梵語は Tvaca と云ひ印度に於て賞用せり支那桂は Cinnamomum Cassia と名け兩廣の特產なり現時盛に產出せり其採取は皮を第一とし一般に印度桂に異ならず夫れ龍腦樟腦は樹脂に非ず樹身に非ず別に一門を樹つ龍腦は Dryobalanops Camphora と名く樹中の天然結晶を指す即ち沈香に類し樹幹空洞中に白色の結晶をなし存せり每樹必らず存するにあらず伐木徒勞に屬すること少からず是樹ボルネオを最多とし馬來半島諸島一帶無きに非ず印度に存せざるが如しフーカー氏は印度植物表中に揭げず然れども Karpura なる梵語は明瞭に之を指し大唐西域記も羯布羅樹のマラヤ山に產すと云ひ或は土民採伐し盡し現時既に存する亡きによるか今姑く疑を存し博雅の君子の示敎を乞ふ、樟腦に至りては之れより遙かに劣等なりと雖も猶香料たるを失せず其狀邦人知らざるなし今之を云はず樹脂に至りては印度西亞細亞頗る多し其最なるものは安息香蘇合香の二とす共に三國六朝の時より西域の名香として支那人に賞用せり我國にてはベンゾインを安息香と譯しストラックスを蘇合香と譯せり金光明最勝王經に說く安息香は guggula 或ひは Inkhalakam と名け balsamodendron mukul の樹脂にして通常安息香即ちベンゾインに Styrax benzoin の樹脂なり共に支那の產物に非ざるあり形狀の類似より同一の譯を用ひしものならんがググラは印度に產しベンゾインは馬來半島及び諸島に產せり蘇合香即ちストラックスも Styrax aliouria の樹脂なりと云ふ、其他芳香性樹脂其數頗る多しと雖も繁を恐れて揭げず夫芳香の用たるや熱帶を最とす、印度西亞細亞の炎熱燒くが如き所流汗淋漓身體自から惡臭あり是時沐浴を欲するは人の情なり而して浴して汗垢を去ると雖も身體自から芳香あるに非ず自から芳香を放たしむ香料の用從つて多く調香の術亦精なり(此頃未完)

日報歌壇

□オーケストラ　京城　淡水

ぼんやりと灯が流れてる格子戶に出てまつて居た。いとしい妻が

日報社のオーケストラに初秋の雅ひした月靜々と出る

□　春川　晚鐘生

オーケストラ秋のリズムをふるはせてオランダ菊が俯向て居る

故鄉を去りて鏡の吾が顏の尖りて寫るを淺ましと思ふ

大きなる凧を作りて飛ばさんと思へり秋の澄みたる天に

□　江景　杜の人

バーの灯も敎會の灯もわが眼にはけじめなきまでなれるかなしさ

こわれたる甕のかけらをつけて見る如くはかなき戀もするかな

公告

一、順化病院炊事場改築工事

此入札保證金各自入札金高ノ百分ノ五以上

右工事入札ニ附ス請負希望ノ者ハ本府內務係ニ就キ入札心得書、設計書ヲ縱覽ノ上十月二十日午前十一時限リ本府內務係ニ入札スヘシ即時開札

本契約ハ朝鮮總督府府尹金谷充擔當ス

大正四年十月十六日　京城府

白檀油代用藥

コノサルヒン

文獻及見本 御需ニ依リ進呈

大阪市外中津町 發賣元 三友藥品合名會社
大阪道修町 武田長兵衛
東京本町 小西新兵衛

書畫骨董雜誌

本號

△口繪 劍客泉川水、吳春岩上孔雀 其他寫眞木版數十面

●東山の書畫會(皆川淇園の創立の功勞)……相見繁一
當年文墨界の盟主皆川淇園によつて創設せられ爾後八十餘年間繼續せる東山長喜庵の書畫會、應擧岸駒蘆雪竹洞梅逸文晁等の名匠巨星羅恭布列の盛景眼前に彷彿して今日文運の貧弱を憐む

●井上侯爵の美術趣味(筆談及印譜)……松林桂月

●玩具師と天水晴風翁の事ども……竹內久一
●手水鉢と天水鉢……香取秀眞
●モデルと美人畫……藤島武二
●饅頭の起源と羊羹の研究……[illegible]
●大小判金の極印は德乘なるや……桑原双蛙
◎美術館物語……小山正太郎
◎葉山潮湖上……羽健助
◎藤森天山(其二)……杉原夷山人
◎樋畑雪湖
◎禹域遊草……松田湘南
◎美術彙報

●繪卷物に現はれたる山水……澤村胡夷

●洋畫の名家 小田野直武と曙山公……平福百穗

●近世名家書畫叢談……夷山人

●水原梅屋翁の書風と其性行……森大狂

●文房諸物……中林竹洞遺著 ◎首尾松の見當……大槻如電

●黃表紙の話……村田幸吉

●美術倶樂部の入札に就て 東都書畫交換會の實況

本號に限り 定價參拾錢
一部十五錢半ヶ年九十錢一ヶ年一圓六十五錢前金の事每月一日一回發行

錦繪相場表

東京芝區南佐久間町一丁目三番地 書畫骨董雜誌社
振替貯金口座東京第六八八九番

各國時計
自轉車
蓄音機
直輸入
卸商

京城黃金町一丁目百八十一番地
喜多金光堂
(電話一〇一五番)
振替口座京城七八二番

農學士 小田公直先生著
法學博士 高岡熊雄先生編纂
經濟學農政學研究叢書第三冊

佐藤信淵ノ農政學說

學界の一大產物現はる

本書は本邦農界に多大の功績ある幕末の偉人佐藤信淵を提へて博士指導の下に研鑽多年群書を涉獵し深遠周匝の學識を傾注して其結果を公にせられ以て信淵の識見と抱負とを明にし共に所說を論評して餘薀なし。寔に近來經濟學史界に於ける好著として我讀書界に薦奬するを得。

菊判全一冊
上製金一圓七十錢
並製金一圓五十錢
送料內地金二十錢

東京神田一橋通町 振替東京三七〇番 有斐閣

最新刊

『日本史蹟』著者 熊田葦城氏新著

幕府瓦解史

全二冊

『有朋堂文庫』型●一千八百餘頁●總クロース美裝箱入●正價前編金壹圓參拾錢 後編金壹圓六拾錢●送料前編金拾錢 後編金廿錢二冊金三十錢

絕大の好評

注文殺到して初版忽ち賣切、再版發行!!

▼特價 一萬部限り 全二冊 金二圓五十錢也

最近の報知新聞に連載して絕大の好評を博したる『幕末裏面史』及び『會津籠城史前記』を收め、新事記を增補したるものにして、會津を中心として幕府瓦解の眞相を暴露し、德川幕末の史實を細敍す。眞に壯絕快絕血湧き肉躍らんとするの一大快著也。著者の前著『日本史蹟』は當年洛陽の紙價を高からしめしが本書の聲價は正にそれ以上にして、日を出ですして再版發行、特價部數の盡くる亦近きにあらんとす。秋夜燈下に繙くべきは眞にこれ此書!乞ふ速かに購讀の榮を賜へ。

有朋堂文庫

記念として第一輯六十冊の僅少殘部に限り、前會員同樣の特典にて希望者に頒つ、詳細規定書は申込次第直ち送呈。

第一輯 第二輯 兩輯一百廿冊 全部終了

東京神田錦町 發行所 有朋堂

大賣捌
京城本町 日韓書房
京城本町 修文館
京城本町 大坂屋號出張所

列強大戰

▲獨軍勝利主張 塞軍危險に瀕す

獨逸公報に曰くマッケンゼン元帥は既定の計畫により行動を繼續し居れりベルグラード、セメンドリヤの南方に塞耳維軍を驅逐し捕虜四百五十人大砲三門を鹵獲し十四日夜ボザレウアッツの南方を砲擊し同市を占領せり勃牙利の第一軍は東塞耳維國境の北方にて獨墺軍は四箇師團の增援攻擊し數里の地點を占領せり多瑙河をなせしより塞軍は危險に瀕し居れり(紐育電報)

▲獨軍水雷爆破

獨逸巡洋艦一隻水雷艇二隻はエーランドの南方なる波羅的海に於て英國潜航艇のため一隻は爆破され巡洋艦と他の水雷艇は逃走せり(倫敦電報)

▲佛報交戰批評

巴里來電に曰く獨軍はヴォージュ戰線三哩に亘りて大攻擊を開始したり十五日發表の佛國公報は其の光景を叙して曰く猛烈なる突風に乘じ砲口一齊に開かれ彈丸雨飛霰下したるが遂に敵の大攻擊も吾軍のために殆んど至る所撃退せられ只數個の斬壕及びハートマンスウエルコプトの絶頂を突貫して成功せるのみ也と(倫敦電報)

▲勃國沿岸調査

倫敦來電に依れば英佛聯合艦隊は勃牙利領エージアン海沿岸の調査中也(紐育電報)

▲希政府の聲明

希臘政府は協商側に對し塞耳維が現下の形勢に照し吾人に兵力の援助を要求するも吾人は塞耳維との同盟條約に何等の關係無きものなる旨通告するものと判斷せられ居れり(倫敦電報)

◎米調節諮問案

農商務省に於ける米價調節調査會は其の第一回を來る二十一日より七日間同省内に開會することに決し右調査會に提出すべき諮問案及び參考案を夫々各調査員に配布したるが同諮問案は●米價を常時調節するには如何なる方法を採用すべきかと云ふにあり●其方策の研究は專ら調査會に委ねべく唯研究調査の資料として一、常平倉案二、米倉々荷證券案三、低利資金案四、米價補給案の四案を分類し參考案として提出せり(東京特電)

◎民政長官選定經路

臺灣總督府民政長官の後任は既電の如く下村貯金局長に内定せるが其の此處に到りたる經路を聞くに安東總督は臺灣統治の舊慣を改め民政長官を純然たる事務長官と爲す根本方針を以て其の人選を其の嫌にして貴族院書記官長たる柳田國男氏を通じて一木內相に依頼せり依つて內相は遞信、農商務に於て之れを物色し其れ〳〵適任者に內交渉を試みたる次第なるが安東總督の最初の意志は朝鮮總督府より經驗ある人物を援擢し之れを顧問として自己の抱負を實行せん豫定となりしも斯ては寺內總督との關係餘りに露骨となり却て世間攻擊の材料となるべきを忠言するものあるより全然無關係にて何等政黨的關係なき下村氏を選定したる次第なりと(東京特電)

◎演習御統裁

天皇陛下には青森縣下に於て擧行の陸軍特別大演習御統裁のため十八日午前七時三十分宮中御出門同八時上野驛より御發輦あらせらる(東京特電)

◎露國信管註文

大坂山口嘉藏外六氏匿名組合を組織し今回露國商人より信管四百萬個の註文を受けたり(大阪特電)

◎岩崎男著元

岩崎男の一行は十七日午後四時四十五分着列車にて來元大東館に投宿せり(元山特電)

◎山林局長金剛山行

農商務省岡本山林局長は十七日午後一時發の遞子丸にて金剛山視察の途に著きたり(元山特電)

新 報

◎褒賞授與式祝詞

共進會褒賞授與式に於て道長官總代來賓の祝詞並に受賞者總代の答辭左の如し

▲檜垣道長官總代祝詞

始政五年記念朝鮮物産共進會出品の審査終了を告げ本日の佳辰をトし褒賞授與の典を擧行せらる本官等亦此の盛典に列するを得たるは深く光榮とする所なり顧るに半島の山河は百度弛廢庶政萎靡の餘を承けたるに新政茲に五年諸般の行政面目を改め新附の民衆各其の堵に安んじ交通開け産業興り教育振ひ皇化率土に洽ねく今や本會の開催に際し多數の觀覽者は道途の遠近を問はず男女老幼を別たず日々雲集の盛況を呈し茲に出陳物を審查考覈し巨多の優品に對し褒賞を授與せられ併せて功勞者を表彰せられたるは衷心慶賀に堪へざるなり今後一層民衆を指導誘掖し文物の發達奬勵に努め本會の効果を完うせしめ國利民福を增進せむことを期す各道長官を代表し聊か蕪言を陳して祝辭とす

▲段上將軍祝詞

大日本帝國治理朝鮮民康物阜乙卯之秋開物産共進會於漢城將以彰明政績奬進農業來東亞之地利樹鄰國之楷模本上將軍兼巡按使建節遼瀋適逢盛會謹當恭襄隆典欣逢東來覧三韓之物華挹百濟之秋爽周旋壇坫文酒聯歡祇以受任之初政務牽率有懷莫遂徒負寵招特遣陸軍第二十七師々長張作霖等代致祝詞曰上章之歲、旭幟東張、維彼箕封、始肆桑決、桑決大國、發敎不彰、富民之術、日引月長、飛潛動植、既阜且昌、八道珍奇、萃此一堂、俟其福而、友邦之光、祝今[illegible]日進無疆

▲金農商部次長祝詞

今日爲朝鮮物産共進會褒狀授與式擧行之辰邦平等辱荷寵招躬與盛會曷勝榮幸溯自大日本帝國朝鮮總督府施政以來五年於茲政教修明文物丕進此次開物産共進會於京城陳列方物用資比較豈惟搜羅宏富抑且治具畢張何其盛也不亦懿歟敝國與貴邦輔車相依素敦睦誼重以交通頻繁冠蓋相望雙方經東既日增密切此後互相提攜必於東亞和平多所裨益展覽庶績深佩貴國政府經營擘畫共紹貴國人士協力同心衆擎易擧傳曰如日農服田力穡行亦有秋詩云如日之方中敢貢一言用申祝悃

▲李完用伯祝詞

今日如此創付なる盛典を目觀し吾人の凡百文物が驟進したる實況に對し衷心以て欣幸とし且つ祝賀する所尚希くば如此名譽たり又光榮なる褒賞を受けたる各位は自今以後一般人衆の模範となり産業其他文物の發達振興に益々努力し國利民福を一層增進せられんことを切に希望し重て祈祝し已ます

▲受賞者總代答辭

始政五年記念朝鮮物産共進會出品審査終了し本日を以て褒賞授與式を擧行せらる我等此の盛典に列して褒賞を拜受し且つ懇篤なる高諭を辱うす惟ふに生等今日の光榮を荷ふに至りたるは一に當局指導啓發の賜にして生等區々たる微力の致せる所にあらず然れども受賞の榮譽は又益々責任の加はる所以なるを深く回想し今より日夜研鑽を重ね各其の業を努め以て產業の隆昌を完うし併せて高諭に副ふことを得んか是れ生等の心肝に銘して誓ふ所なり茲に受賞者を代表し謹て答辭を述ぶ

◎隊署長會議(五日目)

京畿道隊署長五日目の會議は十八日午前九時より警務總監部に於て開會立花警務總長より一場の訓示ありて終了し立花總長より茶菓の饗應ありて解散すべしと

朝鮮開發の五年

六 產業發達の進績(三)

一、農業及產物

農業は朝鮮の產業中最も重要なるものにして之に從事する者は總人口一千五百萬人中八割の多きに達し其生產物の價格は優に三億圓を超え輸移出總額三千四百萬圓の八割は殆ど農產物なり以て如何に農事の朝鮮に重要視せらるゝかを推知するを得べし然らば朝鮮半島の山野は總て農耕地なりやと言ふに、白頭山の山脈は蜿蜒起伏して北より南に走り山岳多くして平地尠なく就中東海岸に面する地方は傾斜急峻にして農耕に適せず此の故に半島の總面積は一萬四千百餘方里を算すれども可耕地は僅かに其の五分の一即ち四百餘萬町步に過ぎす、此の四百餘萬町步中旣に耕作せられたるは水田約百萬町步畑二百餘萬町步にして自餘の百萬町步は未だ鋤鍬の入らざる未墾地に屬し他の大部分は山地にして一小部分は河床及び海岸の干潟地なり、從前に於ては田畑の丈量精確ならざりしが故に併合當時の既墾反別と今日の既墾反別とを比較對照することは甚だ困難なれども假りに官衙に保存する結數連名簿に準據すれば、水田に於て二十萬町步畑地に於て四十餘萬町步を增耕せし割合となれり、以上は固より精確なる比較對照にあらざれども若し夫れ收穫石數を對照すれば明治四十三年の收穫高は米八百十四萬石、麥三百五十五萬石、大豆百八十二萬石、粟二百六十九萬石にして大正三年の收穫高は米千二百十六萬石、麥六百五十三萬石、大豆二百八十四萬石、粟三百三十九萬石なるが故に、總石高に於て八百七十八萬石を增收し特に稻作に於て四百萬石を增收せし割合となれり。然れども斯くの如きの激增は單に未墾地の開拓に依りて生せし增收にはあらずして其の主なる原因は種子の改良、選擇、耕作法の改善施肥の改良、水利灌漑施設の改善其他稻扱、籾摺、石除等の方法其の宜しきを得たるか爲めなり、而して之れが改良選擇を促進したる原動力は總督府の奬勵補助與つて多きに居るや勿論なりとす。由來寒溫の氣候周歲順當にして晴雨も亦季節に違ふ事稀に、農耕の好適地たる朝鮮に於ては農民は只管ら天惠に依賴し人力を以て何等改善の途を講せざりしのみならず、山林は濫伐に委して樹木の缺乏を來し爲めに霖雨には洪水の害を被り旱魃には灌漑の便を缺ぎ、隨て穀類の品質は劣惡に流れ、其の收穫は縱令減少せざるも增加する事なく、野菜果物の栽培に至りては殆ど忽諸に付したり、之を併合前の狀態となす。されば寺內總督は就任の劈頭に於て鋭意農業の改良に盡瘁し、他の產業に比し割合に多額の經費を投じ各般の施設殆ど遺憾なく之を實行すると共に努めて以て農產の改良增殖を企圖せる結果近時朝鮮の農業は舊來に比し頗る面目を改めたり、而して將來に於ても依然今日の方針の繼續せられ、益々耕作地の擴張及び農產物の改良增殖の企圖せらるべきは言を俟たす。

◎人肥競爭激甚

住友肥料の販賣値段不明なりし間は各同業者も滿を持して放たずの概ありしが各地とも各販賣値段が次第に明確となりしより多木肥料、硫酸、日本肥料等何れも之に應戰を始めたり且つ信用未定の初賣品なるを以て住友の現在生產力は未だ甚だ大ならず其販賣は左迄實際人造肥料界に大影響なかるべしと前に某人の觀測したる處なれども本年は肥料に對する農民の購買力特に著しく減却し總體の賣行き面白からざる時なれば多少の波動も案外大なる波紋を市場に讃かんとする傾きあると共に、多數人造肥料社中には本年の如き不景氣の年は多量の賣込みを爲すは貸倒れの基なればとて消極的方針を取れるものなきに非ざれども多くは販路の擴張は不景氣の年こそ大切なれとて他の競爭に應じ濫賣をなさんとするものゝ如くなれば既に開始されたる農家の肥料購入の增加に連れて同業者の競爭は益々激甚に向ふべし(大阪支局)

◎兼二浦製鐵所

三井鑛山部長工學博士團田鎭次氏は三菱所有兼二浦の製鐵所を視察中の處此の程歸東したる其の談に曰く熔鑛爐は獨逸に注文中歐洲戰亂となりたれば從つて今や之れが輸送の道なく改めて米國に注文せんとも思へど之亦歐洲戰亂の影響を受けて思ふ樣に運ぶべくもあらざれば己むなく土工を先として著手することゝなれり土工とは石炭及び鑛材運搬に要する道路、鐵道等の工事を指すものにして鐵道は既に兼二浦、大同江間十一哩間之が竣成を告げ今は專ら水道の布設に著手し居れり水源地は兼二浦を距る三里の處光州附近に之を求め水溜其他一切は本年度中に竣成を告ぐる豫定なり同製鐵所完成までの總豫算は七百萬圓なるが何れ一千萬圓以上に上る見込にてその製產高は年額三百萬噸にて八幡製鐵所製產高の約半額なり(門司通信)

◎原鹽輸入狀況

九月中の仁川の原鹽輸移入高は二萬六十八圓前月の一萬七千百六十六圓に比し一萬二千九百二圓の激增を來せり原因は愈々追々需要期に入りし事と戎克船の入津多き爲めなり又前年同月に比すれば凡そ七倍の增加を來せるが這は一に昨年九月初旬支那山東省に暴風雨ありて製鹽及び鹽田の被害甚大にして到底朝鮮方面へ賣込の餘裕なかりしに依る尚市場賣行は普通なり價格は一俵(百斤入)六十錢見當にして月末在庫高は一千萬斤内外なり因みに仁川兩製鹽業も需要期に入りたるを以て各工場共製造を開始したるが本年も亦蔬菜類の成育完全にて魚獲高多額に上りしため市場賣行は今後相場多量に上るべし相場は百斤九十錢乃至一圓にして月末在庫高は三百噸なりと

◎清酒飲料水移入

仁川九月中の清酒飲料水移入は一萬四千二百十七圓にて前月の一萬七千三百二十二圓に比し稍々減少せるは最早や盛夏の候を經過し麥酒の最需要期終りを告げ只補充的に一部の仕入あるに依りたると一は清酒は未だ需要期に入りたるものと謂ふ可からず從つて其需要も亦大ならざるに因る又前年同月の一萬六千九十六圓に比し稍々減少せるは內地釀造の四割方不成績に陷りしため相場割高なるに加へて地酒釀造高幾分增加せる傾向ありたるため市場賣行は麥酒は減少し清酒は稍佳良なり價格は櫻正宗一樽二十四圓、白鶴二十三圓なり

◎隊署長昌德宮拜觀

十七日は日曜日なるを以て開會中の京畿道隊署長會議は議事を休止し一同相伴ひて昌德宮秘苑を拜觀したり

◎關宗喜氏歸任期

北海道拓殖銀行取締役關宗喜氏は過日入京、巴城館に滯在中なり、同氏は二十一二日の頃歸任す可しと

◎松寺檢事正晚餐會

十六日午後六時半より京城ホテルに於て松寺京城地方法院檢事正の司法官憲兵警察官の招待晚餐會ありたり席定まるや松寺檢事正の開會挨拶の辭あり警務部長答辭を述べ主客歡談の裡に散會したるは午後九時頃當日は高等法院長司法部長、官覆審法院長、同檢事長立花警務總長京畿道長官地方法院長初め各法院部長檢事總監部各課長以下隊署長會議參列の分隊長分遣所長、各警察署長本町鍾路兩署司法主任等約七十名にて頗る盛會なりし

◎瀧警務長招宴

十七日午後七時頃より京城ホテルに於て各隊署長會議列席の爲め入京中なるを機とし瀧警務部長は此等の諸氏に在京司法警務の關係高等官諸氏約七十名を招待して晚餐會を開會し頗る盛會なりし

◎青山哲三郎氏歸朝

總督府水原勸業模範場技手たりし青山哲三郎氏は二年前渡米スタンフォード大學に入學專ら害蟲研究中なりしが此の程業成り歸朝したりと

◎●分遣所長警部更迭

京畿道管內憲兵分遣所長警察署警部等に數名の更迭ありたり

人事消息

▲西和田久學氏(農商務省技師)同上京城ホテルへ

▲青木良雄氏(下關市長)同上浦尾旅館へ

▲生駒緣藏氏(下關山第二課長)同上

▲佐々木正太氏(慶北第一部長)十七日出發歸任

書 間

□經佛國寺至石窟庵 毛里保太郎

吐含山鐘與雲連。日暮人過敗寺前。荒輕寒烟慶州路。古塔石佛吊千年。

□金剛山口占

危峰怪巘各爭鋒。天半宛如看鬪龍。登臨初知金剛景。映來一萬二千峰。

◎藥泉噴出す

[illegible]翌日午後四時頃まで噴出し四時より午時迄は止む處の間歇泉なりと

[illegible]牛角里二十一番地第一號金福賢妾朴氏(三十)は十月十六日午後十時頃自宅に於て家庭上に[illegible]は別條なしと

◎咽喉に擦過傷 平北宜川郡[illegible]傷を負はせ各懲役十年を新義州支廳にて云ひ渡さる

△晝 間

▲御代の榮 [illegible]、奈次、金花、玉嶸、奴、花奴、小三郎、千代作、森實、遊龍、國香、千代葉

▲借舞 安柳色、金花香、金剛玉、金桜紅

△夜 間

▲天狗一座 奇術、曲藝、胡蝶舞、少女ダンス

▲義士劇と松風村雨 [illegible]

最高名譽

しらぎの

豫て愛煙家諸彥の御愛顧を辱ふせる弊商會謹製の紙捲煙草は曩に東京拓博、明治記念博、大正博の三博覽會に於て名譽ある金牌を受領したるが這回始政五年記念共進會に於て『しらぎ』は辱くも

閑院宮殿下御買上の

光榮を賜り

併其褒賞授與式に

於ては

最高の名譽金牌を

受領するに至れり

これ偏に愛煙家諸彥の深厚なる御同情の賜なれば弊商會は茲に之れを感謝すると同時に此際一段の努力と研究とを各製品に傾倒して益品質の向上を期す何卒倍舊の御眷顧を希ふ

京城 廣江商會

大共進會

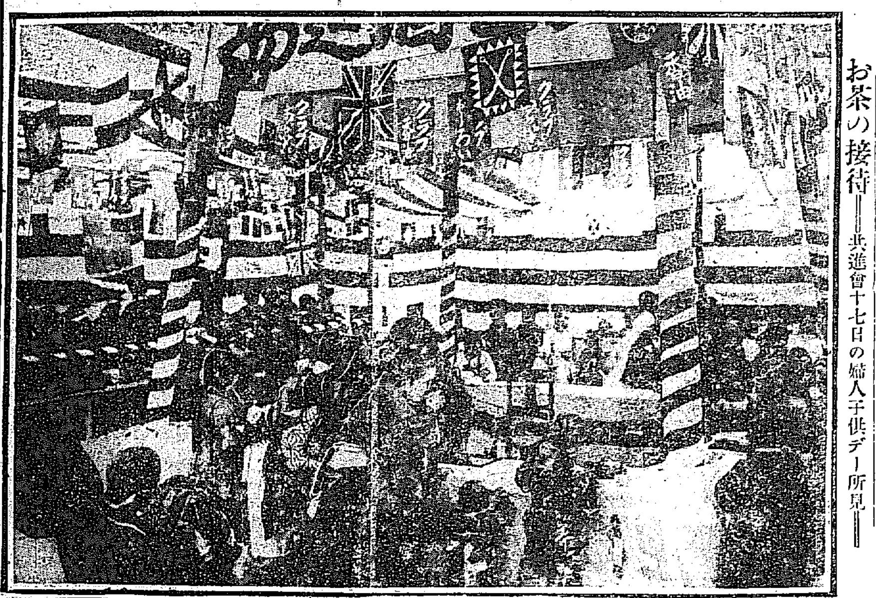
歡樂の秋の一日
婦人小供デーの大成功

深閨内房に飛微して婦人と小供に秋の一日を樂しく愉快に過させ様と計畫された協贊會婦人小供デーは空前の大成功であつた十七日は午前は褒賞授與式があり正午からは慶會樓で大宴會が開かれた爲め共進會場内は後から後からと波打つ群衆に賑はつたが此日は特に婦人小供の爲めの日とあつて相撲場を全部開放して幔幕で張りモールで飾り入口には大額を掲げて婦人小供無料休憩所とし

入場休憩 婦人小供には一人殘らずお菓子を接待

中央の卓子にはお茶を準備して好むまゝに饗應する、午後一時二時頃の混雜と云つたらまるで女護ケ島の市日の様に休憩所から出て來て却つて休憩しなければならないと云ふ始末、お菓子を包んでるのも女事務で此方は又四五人の女事務員が包んでも包んでも包は飛ぶ様に消えて行くので午後三時頃包紙の半紙が二十帖無くなりましたと云つて忙し相にまだ後から後から包んでる半紙は一枚を中央から切つて二包にしてるのだから都合お菓子は八百包出た譯で此模様なら閉場迄には千數百にも及び相だと頻に忙し相に包んでる慶會樓の池畔から裏手の演藝小舍にはゾロ〳〵と空氣草履や意氣な下駄が續き・紅紫の衣や帶の色や砂色やのパラソルが雜踏した模様は恰で大睡蓮が浮動してるかと華やいでる松並木の側に續いた賣店にも各地からの土産物が今日許りは羽根でも生えてるやうに賣れて行くそうかと思ふとお鮨、お蕎麥

お汁粉の店がお孃さまとお母さまと坊ちやんとお孃さんと女中とでひつきりなしの滿員とはすばらしいものだ午後三時に開場した演藝館の盛況は其以上で木戸口附近には鳥渡には近寄れ相にもない程で其れが皆女許り、子供許りで愈々開場となると切符場に雪崩を打つて押寄せるので數人の巡査が停車場の切符賣場の様に行列を作らせたが一箇所外賣場が無いので仲々捗が行かない其れでも漸く定刻の三時半頃となるともう場内は一杯の人で廂と云ふ廂には丸髷や束髮や切下げや桃割れやさうかと思へば（高島田のお揃ひに中央から分けた女學生がゐたり）お太鼓と海老茶の隣りには朝鮮婦人の純白な絹が光つてると云ふ雜然とした大賑ひ其れを石田府事務官、三浦協贊會事務長の指揮の下に協贊會員と女案内人とが天手古舞で整理してゐる軈てオーケストラが嬉しくて堪らない様なメロデーを奏で出すと一杯に詰つた群衆の血は天勝の魔術を見ぬうちから蒸れ立つた人息れにボツとして來るキリ〳〵と味の素と正宗の海老茶の緞帳が卷かれる（ミフツトライトに輝やいた）舞臺には清洒な洋裝をした天花が可愛らしい愛嬌を湛へてハンカチーフの奇術やら時計の魔術を演じる土井のヴアイオリンが『何をクヨ〳〵川端柳』と獨特の妙技を振ひカード奇術や雲雀の目眞似や次第に時が進んで午後五時半喜劇仕組みの惡戯ボーイが終つて閉會する迄皆熱心な顏付で見物した斯くて婦人子供デーは歡樂の裡に暮れて行つた



お茶の接待――共進會十七日の婦人子供デー所見――

清楚な御旅所
角力仁輪加の餘興龍山市中の賑ひ

氏子組織となつたその最先に祭禮當番になつた龍山では市民が熱狂して祭禮の準備に忙がしく神輿を迎へる十七日は各係員總出で南大門驛に迎へ午後二時京城側の氏子と交替して供奉警護しながら古市町から青葉町を通つて元町一丁目に出で二丁目に入つて午後四時若の池に御休息三丁目四丁目を經て旭町通、榮町に出で龍山橋を渡つて鐵道構内の御旅所に無事著御したのは五時過ぎであつた、御旅所は間口約三間の假舍だが京城神社の紋章を染め出した天幕で覆ひ鯨幕を張り廻らしその左右には警護所を設け御旅所の周圍には紅白のだんだら幕を張つて見るからに神々しい神輿通路に當る御旅所には淨砂を敷き詰めその兩側には綠濃かな男松女松を立て献燈は所狹きまでに立ち並んで附近には踊舞臺角力場が設けられてある、神輿が著御すると程なく六時から御旅所祭を執行ひ茲に目出度く祭禮の第一日は終りを告げたのであつた、夜に入つては御旅所には提灯、篝火を焚いて嚴重に警護し博多仁輪加、角力、煙花の打揚等があり市中では休業して祝意を表して近來にない賑ひを呈した

龍山御旅所前

南大門驛まで龍山側が供奉しそれから京城側が迎へる事になつて居り中券番の藝妓は仕丁姿で十時頃驛前まで迎へる筈である

△沿道は人の垣

十六日夜から十七日にかけて市中は何と言つても活氣を増してお祭らしい色彩が濃くなつて來た、府から氏子の手に移つて祭典委員總長として擔ぎ上げた中村再造翁が天神囃を唸りながら危ない腰付で神輿に縋いたのが先づ驚しく人目を惹いた

練り出した行列は大和町を練つて新町に乘込むと與丁の消防夫は血氣の若者、勢ひに乘じてワツショイ〳〵と艶めかしい女が垣間見る街中を隅から隅まで練つて歩く、流石に遊廓では遠慮して二階の窓硝子には幔幕を張つたのも數を見受けた、神輿が第一樓前の空地に休むと白粉の剝げかゝつた女どもがゾロ〳〵と何やら願文を唱へては投げ込む賽錢が雨の様だ、此處を立つて本町筋に入ると例の狹い街の沿道に並んだ善男善女は合掌しながら後へ後へとさがる御旅所前の沿道へ來ると角の二階から見下げてゐるものがあつたので神輿は忽ち荒出しバラ〳〵と石礫の見舞を浴せたが事なく濟み無事府廳前に出た南大門に向つた京城券番の藝妓の一隊は紐の角で行列を見送り遠慮して列には加はらず別に市中を練つて歩いた

奉祝煙花
晝は家庭博入場券 夜は彩火眼を奪ん

十八日神輿龍山御旅所より還幸の午後四時卅分頃から吾社は夜にかけて三十三發の煙花を打揚げる南山公園で揚げる晝煙花八發は吾社の社旗を吐き家庭博の無料入場券數百枚を撒布する、夜になれば東小門外の大塚煙花製造出張所特製の引先の綠、花畑、眞菊その他黄金町三丁目の三河煙花商會特製の水色鹿子、淺黄鹿子、金波流その他が互ひに彩光を競うて美しい事であらう

十八日の祭り

十八日は午前八時齋主齋員參列員著床御旅所發幸祭を行ひ豫定の順路を經て午後八時から還御祭午後十一時から御靈代還座祭が行はれる

五十名の選手に百二十名の申し込み
山野橫斷大競走

來る廿日擧行する龍山、京城市街山野橫斷競走選手は五十名の募集に對して百二十餘名の申込みあり體格檢査は十八日午後一時慶會樓にて執行する筈なるが通知洩れ及申込遅れの人も同時刻出頭檢査を受くるを得る由

尾崎氏の退京
十八日の夜行にて郷里三重縣へ

共進會の訪問飛行と云ふ大任を負ひ秘藏の三重號を携へて客月入京した帝國飛行協會の飛行家尾崎行輝氏は十七日間と云ふ長期の飛行を何一つの故障だになく終了し十七日褒賞授與式當日の大飛行を名殘に愈々十八日午後七時五十分南大門發第二の飛行地たる郷里三重縣に向ふことゝなつた京城協贊會は同氏が此名譽ある飛行を終へたるに際し慰勞のため十七日夜盛宴を花月に催したるが更に十八日夜の出發に際しては協贊會役員は勿論其他の人々數十名賑々しく見送りを爲すべしと

□飛行協會へ感謝

本月一日より十七日迄に九回の飛行を爲し氣流の關係其他の爲め連日の飛行は不能なりしも更に飛行機の偉大なる威力を充分に示し得たる協贊會主催の三重號の飛行は十七日の飛行を以て最後の飛行として多大の成功を以て終了せるにより協贊會よりは大隈飛行協會長、山田陸軍省軍務局長宛左の如き感謝の電報を發せり

□大隈會長へ

貴會より御差遣の三重號大成功を以て本日無事終了御配慮を感謝す

□軍務局長へ

三重號大成功を以つて本日無事飛行終了御配慮を感謝す

日支交驩の大晚餐會
華かなる官邸の大食堂菊花電光相煥發す

隣邦の佳賓を迎ふる爲めに龍山總督官邸にて開催されたる寺内總督の晚餐會は十七日午後七時卅分より開始されたり此夜星明かなる漢江河畔の官邸には階上階下の窓々より華やかな灯火が漏れて正門には馬車、腕車、自動車の燈火相踵ぎ軈て定刻前に至れば眼覺むる許の軍服に光輝燦然たる勳章を佩べる張作霖將軍を始め吉林將軍代理張參謀長等馬車にて來著、續いて又瀟洒たる燕尾服の金農商部次長、方東邊道尹、陶延吉道尹等一行卅餘名の來著あり一同階下の應接室にて休憩すればこれと相前後して燕尾服に勳一等旭日章を佩べる寺内總督を始め正裝の軍服燦然たる川村中將、立花中將の入來るあり、更に又燕尾服に勳章佩べる朝鮮貴族の一團に次で肩章の光眩ゆき總督府各高官數十名の來著あり邸内煌々たる電光の下光影參差頗る盛觀を極めたり、斯て定刻に至り邸内の一隅より嚠喨たる音樂隊の奏樂起れば一同は友邦の佳賓を先頭に階下中央の燦然たる大食堂に入り卓を繞く電燈の光輝と純白の卓上紅白の菊花ダーリヤ花相映發するところ正面主人席には寺内總督著席し其の前には山縣政務總監、金農商務次長、李完用伯著席、又總督の左右には張作霖將軍、川村中將の著席あり次で小宮李王職次官、馬奉天交涉員、傅交涉員、渡邊高等法院長、張參謀長等の著席するありて總員百名を算し盛觀言ふべからず、斯くて宴正に酣なるに至るや寺内總督は起ちて一場の挨拶を試み此の多數なる隣邦の佳賓を迎へたるを歡ぶ旨を述べたるに次いで來賓側よりは張作霖將軍の謝辭ありて席上主客互に歡を盡くし和氣靄然たる裡に午後九時半此の盛宴を了れり

商業學校出火

下關商業學校十七日午前四時出火寄宿舍生徒控室其の他一棟二百二十二坪柔道室一棟二十坪燒失同六時半鎭火其の損害一萬五千圓原因不明なり（門司特電）

何回でも御覽なさい
お慰みの景品は今日も亦殖ます

十七日の家庭博は晝も夜も素晴らしい人出であつた、お祭りに婦人子供デーが催された日のことゝて婦人小供の多かつたこと、二度、三度見た人もあれば未だ始めての人もあり二度目に見る人は詳しく、部分的に能く觀て研究せられる、中には手帳に書き付けて行かれるのもある、始めての人は『アラまあ綺麗な事』と各室陳列の人形を見て驚く、子供の喜ぶのは一號館の不思議の鏡、五號館の九官鳥のお早うにサヨナラの口眞似、後庭に出れば遊動圓木に例の評判のカチ〳〵山

猿公の安さんは始終ムカ腹を立て坊ちやん孃ちやんのお相手を仕る、其他色々の遊戲器具があつて子供さん達は大喜び其外餘興の福引的景品も大人氣、數千の入場者が一人も空籤なしと云ふのだから景品引換所の雜沓と云つたらない、一等四圓から四等一圓までの本景品の外番外の景品は逐日増えて此日は目星しいものが餘程出た、明日からは今迄の番外景品の外に更に別項寄贈欄にもある通りお盆だの、瓶詰醬油だの三越の帛紗だの足袋だの小刀だの番外

今晚は有樂館へ 寫眞は深草物語

大好評の天勝一座

●十九日迄引續き毎夕六時開場
●觀覽料 特等一圓 一等七十錢 二等五十錢 三等三十錢

共會場内 京城協贊會 演藝館

●十六日よりサロメ劇の代りに艶麗花の如き胡蝶の舞と抱腹絕倒の喜劇『鼠取り』を差加ふ

景品が素晴らしく殖え、

加之に家庭博がお慰みとして提供した一等から四等までの景品も總額の半分は殘り籤になつて居ますから今日明日兩日の晝夜お散歩がてら來場を願ひたい

家庭博とお祭

本日京城神社神輿は本社家庭博前にてお休憩になります、お供の方は後庭でお辨當。夜は本社より京城神社へ獻納の大煙花三十三發の打揚。

家庭博寄贈品

- 一帛紗（十枚） 三越吳服店
- 一醬油瓶詰（五打） 高杉醬油店
- 一ジャツギ（一挺） 鐵切榮次郎
- 一ナイフ（五十挺） 同上
- 一部味噌（百貫目） 島屋販賣店
- 一朱塗盆（四十枚） 平田商店
- 一大正足袋（二十足） 大正足袋店
- 一百事便覽（四百八十部） 萬年舍
- 一小說妻（三百冊） 京日代理部
- 一上等繪葉書五百組 同上

金牌受領

始政五年記念朝鮮物産共進會第壹號館に出品し曩きに
閑院宮殿下 御買上の光榮を得たる
栗饅頭 は
名譽なる金牌を受領せり
總督官邸御用
京城南山町三丁目
江川菓子舖
電話二百十一番
振替京城二〇四九番

祝共進會開催
祝家庭博成功
資本金 七百拾八萬圓
壹ケ年製產額 壹百五拾萬樽
淺野セメント株式會社
京城出張所
京城黄金町
電話六六二番

祝共進會開催
京城府漢江通
龍山水產株式會社
電話（龍山）一一五番

祝家庭博成功

▲礦石買入廣告
■タングステン礦
■水鉛礦
■マンガニース礦
■亞鉛礦
右現金拂にて高價購入仕候間多少に不拘御來談被下度當分京城長谷町朝鮮ホテル内に止宿仕候猶鑛山御經營の向へは資金の御相談に可應候
橫濱山下町九十六番
礦石買入商 ジョージ、アール、アーレン

腹痛皮膚病其他腫物に効ありとなし盛んに汲み取り飲用し居れり同泉は二尺直徑の穴にて毎日午後九時より

日本人側式を兼ね始政五年記念祭を…の爲め前管長旭日苗師の法話あり

女房の自殺未遂

仁川府…を多量に飲用し苦悶中其筋の報道に因り仁川病院より山田醫師出張診察せしが目下の處生命に…

…れを强奪する爲め九月十日突入し金を出せと迫り拳銃の咽喉に擦過…判明し目下入院加療中

□今日の演藝館□

▲四仙舞 韓紫玉、姚桂蘭、張正姸、金月仙
▲無巣舞 金香桃、張翠珠、崔玉珠、崔秋月、李花香、李花姸、金玉貫、金彩仙

▲壽座の活動寫眞

…中の壽座は工事落成…改築…共同經營の下に…

…の二者にて二代目燕右衛門を以て任ずる…燕右衛門は十一日登山に乘込みたるが各地を巡業し近く入京する由

…興行の大入にて何れも大喝采なり

千生瓢(15)

須藤南翠作 筒井年峰畫

颶風の前（十五）

秀吉の陣立は堂々として居た。第一陣は中川瀨兵衛清秀、第二陣は蜂屋出羽守頼隆、搦手は長岡與一郎忠興、桑山修理亮、羽柴於次丸秀勝、第三陣は中村孫平次一氏、平野權平長泰、片桐助作且元、本陣は羽柴筑前守秀吉、自ら馬を出し、旗下には兩加藤を始めとして、福島、石川、脇坂、前野、石田等の小姓の面々、

英氣日頃に十倍して隨從してゐる。軍奉行は増田仁右衛門、小西彌九郎、熊谷内膳、粕屋肋右衛門、軍目付は杉原七郎左衛門尉家次、荒木平太夫の面々、其勢三萬八千餘と註せられる。又海上には九鬼大隅守嘉隆、高山右近太夫長房、兵船數百艘を列ね大旗、小旗春風に飜へして、三方より桑名城を包圍み、金鼓の響山海に轟きて、漸次〱に攻め寄せた。此大敵を前に見わたし、桑名城では、今が軍議の眞最中である。一益が姪、彥次郎光益、血走る眼に滿座を睨め著け、猛然として席に進んだ『御方略相違して、筑前が爲に度々の御不覺、御心中御察し申し上げる。去ながら雲霞の如き大軍を、後備へなき裸城に引き受け、而も兩城に引分れて、勢を二手に分ての上なれば、初より勝目なき戰、敗軍は當然おざりまする』

囂々として苦言の一擊、一益が胸の瘡痍は、愈々深く抉られる。

『口賢う申せども、敗軍と知りながら、無謀の戰致す程、この一益老耄れぬわ。既往は語るな、向後の方略、何とぢや、それ聽かう』

『申すまではおざらぬが、我々譜代の面々、兩城に引分れて戰致すも、死を輕んじて敵に當るは、尋常の事おざる。下々の者共の所思、恐らく左様には參るまい。兩城を取り斷つて、敵三方より寄するに於ては氣は怯れ、力は衰へ、一向物の用に立つべくもおざない。已の力を殺いで幾倍の敵に當る。是れが無謀の戰ひでなくば、何を無謀と申さうずるやあらん。此彥次郎、伯父上の賢慮、曾て合點仕つらぬぢや』

『軍議の席ぞ。性根を据えて口開かうッ』

一益は威猛高になつて一喝した。

光益は平然としてぢろりと視ながら『性根あればこそ、是だけの事申すぢや。今日の合戰、此處に於てせらるゝ事、堅く御無用と存ずる』

『それ何の卑怯。今一言確と言はうぞッ』

『さればおざる。彥次郎存ずる旨は桑名城を見棄てられい』

『何、此城落よとかッ』

『長島城も棄てさせられい』

『長、長島をも……』

『兩城ながら敵に渡され、尾州蟹江の城に立籠り、人數を一城に集めて固め〱を堅固にし、暫し堪へて御籠城あるに於ては、東風に開くる塞當の如く、必定御運は開かせられう。然らずんば筑前が智謀に弄られて、可惜名譽の武名を汚し、名もなき雜兵に、御首級を亡はるゝこと、彥次郎確と申し切る。弓矢八幡、二言はおざらぬわッ』

一益は額に太い筋を張つて、双の拳をわな〱と戰はした。日置五郎左衛門尉、徐ろに口を開いて、

『彥次郎殿申さるゝ議、智者の深慮と存じ申すぢや。此まゝ蟹江に立籠つて、十日も支へて御坐あらうならば、柴田殿の出馬は定の物おざる。さある時には、筑前江州に引返して彼の大敵を支へ甲す事、是も定の物おざる。今兩城を渡すこと、勇なきには似たれども、暫らく敵の鋭氣を避け、十日を出でず取返すに於ては更に弓矢の恥辱でない。彥次郎殿、微妙も申されたよ』と、辭を極めて稱贊した。

一益は啞然として長大息を發して

『此身東國に在つて、上洛延引致いた爲め、亡君の弔合戰に間に合はず。其が爲に在可のみならず、猶に在す三七殿まで、筑前に貶めさせた事、遺恨忘るゝ日とてはない。今さへ龜山嶺の二城を落され、今また桑名、長島をも、空しく敵に踏破らるゝ事何として堪へられうぞ。去る者は去れ。一益に於ては、縱令一人たりとも、當城に踏み留り、快く一戰して誠勢ひ窮らば、城廓に火を放つて腹搔き切つて死なうずるわ。成敗利鈍は顧みる時ではない。唯だ名を惜しい。武勇が貴い！』

兩眼からはら〱熱涙の下つた時、海陸一時につるべ放つ大砲小銃、天地も裂けよと轟きわたつた。

共進會最上のおみやげ 醍醐味腐敗せず 滋養大 乃木餅 一箱十五錢 關東橋 京城本町壽館前乃木餅屋 電話二七五二へ御注文迅速御届し升

入院隨意 京城南大門通三丁目（蔣木商店横入る） 胃腸病院 院主 佐々木杏造 電話一六五九番

北鮮國境貿易

全く河船杜絶してゐるも天候回復と共に復舊し一時に輸出貨物增加せり其の價 [illegible] ニエツト經由浦鹽に搬出す木材は輸杜用として之れ赤前徑路に依り [illegible] に至る陸路の運賃に比し遙に廉なるを以て物品に依りては陣春より [illegible]

三千四百九十圓を增加す重要品は木材三千九十六圓を最とし玄米百九十 [illegible] の發展に伴ひ益々盛況に赴くべき趨 [illegible]

組合員を勸誘しつゝあり同組合數は內地人五百名以上鮮人千名以上の參 [illegible] にて會議を開き大阪の岩田惣三郎、田代重右衛門、戶田榮藏、京都の津 [illegible] 協議圓滿に運びたる結果出席者及び二三の人々更に交渉を重ねることゝ [illegible]

京日案內

◎普通 一回前金三十錢(無割引) 一行五字詰毎に金五錢増

●周旋業 ●藝娼妓 ●酌婦 ●仲居 女中、收扱確實迅速 萬成舍 京城黃金町三丁目 電話二七三五番 658

●古本 ▲雜誌(新聞) ▲反古(書籍) 買入 ●電話一五〇番 京城本町 ウツボヤ書籍店 747

○女店員 數名募集す十二歳より廿歳迄保證人要給料面談(壽館前) 京城本町二丁目 電二七五二番 △乃木餅屋 728

●賣地 南大門通停宅地廿餘坪 御望の方は(電話壹〇壹五番)へ △黃金町 喜多金光堂 760

●看護婦入用 免狀所有者を募集す 希望の方は履歴書を送れ 仁川寺町 仁川看護會 743

●番外 一回前金六十錢(無割引) 一行五字詰毎に金十錢増

●集金人募集 年齢十七八 身元確實 相當の保證人を要す希望者午前中に來談の事 京城旭町二丁目(上ル) 朝鮮雜誌社 電話二二五〇番

●平壤燒栗 支那やき 燒味京城唯一 櫻井町 大正館前 山下製麵所 電話二三四八番 754

●旅館 御一泊八十錢一圓一圓廿錢 御中食三十錢四十錢各別 ●共進會 共進會觀覽各位に多大の御便計り 入口右六軒右脇 △伊藤旅館 升 72

●開業披露 旅館 京城南大門脇 漢陽公園通り 閑靜にて眺望佳絶 漢陽旅館 電話二二一九番 營業主大原松次郎 626

京城南大門外蓬萊町鐵道踏切側 產婦人科 內科小兒科 今本醫院 電話二八五二番 752

●開業 高等下宿 客室清潔 庭園あり 共進會期中特に大割引仕候 京城長谷川町 朝鮮ホテル前 中京館 金澤 718

▲りん病ばい毒 にて困る御方は御出でなさい 詳細は本月三日の京城日報を御一覽あれ 京城南大門外 ドラッグ商會 686

▲乳母至急入用 希望の者は京城大和町二丁目十六番地 辰市本丸方へ申越しあれ 758

◎日本製六〇六號 「アルサミノール」注射開始 京城明治町一丁目(元曙町) △皮徽科 佐藤醫院 744

皮膚病 花柳病專門 永樂町商品陳列所坂の上 須古醫院 電話二〇二番 566

公示催告

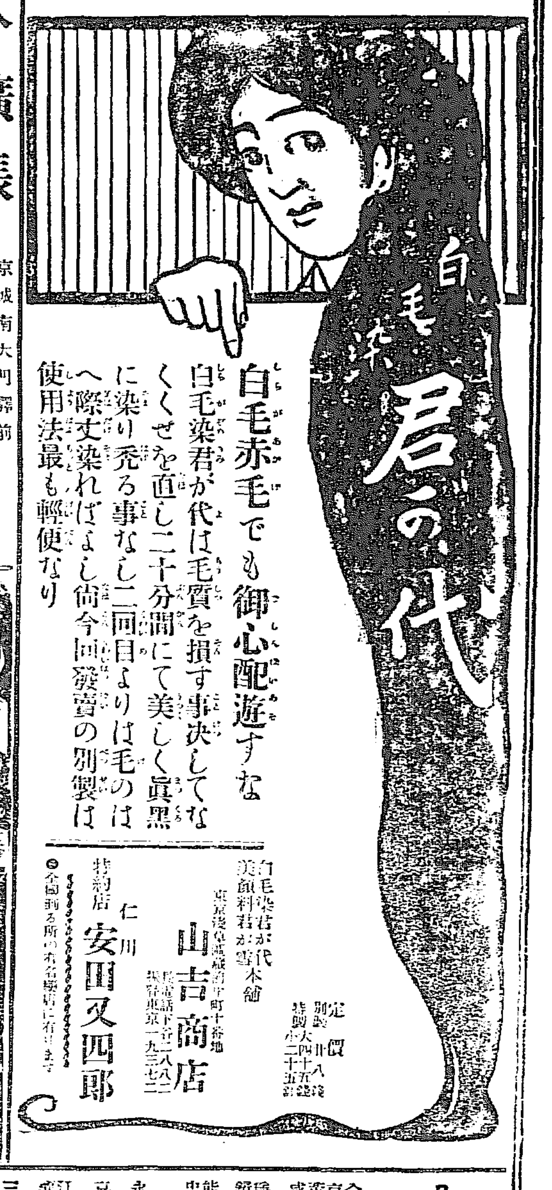
一、貨物引替證書壹通 但大正三年十月二十四日鐵道院大阪荷扱所發行第五〇號發驛大阪著驛南大門荷出人忠則運送店荷受人宗像イツ品名石版石及銅粉右申立人ハ前記證書ヲ紛失シタル旨ヲ以テ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニ付キ該證書ノ所持人ハ大正五年四月二十九日午前十時迄ニ當法院ニ其ノ權利ヲ届出テ且其證書ヲ提出スヘシ若シ其届出及提出ヲ爲サヾルトキハ證書ノ無効ヲ宣言セラルヘシ右民事訴訟法第七百七十七條ニ依リ催告ス

大正四年拾月拾貳日

京城地方法院

朝鮮總督府判事 針貝金次郎

美術京染 其他印物。紋附萬染物 ハツピ。印手拭。風呂敷。 釜山大廳町二丁目 鹿末染工場



白毛染 君の代

白毛赤毛でも御心配遊すな

白毛染君が代は毛質を損す事決してなくくせを直し二十分間にて美しく眞黑に染り禿る事なし二回目よりは毛のはへ際丈染ればよし尚今回發賣の別製は使用法最も輕便なり

定價 別製 四十八錢 特製 大四十五錢 小二十五錢

白毛染君が代 美顏料君が雪 本舗 東京淺草區新谷町十番地 山吉商店 電話下谷二八〇二 振替東京一九三七二

特約店 仁川 安田又四郎

◎全國到る所の有名藥店に有ります

大擴張 共進會觀覽者には特に御便宜叮寧に取扱申候 京城南大門驛前 武藏旅館 電話二三六四番

募集 大正五年御壽寶 大正五年農家暦

本書は例年の通り明年の稻作麥養蠶豐凶各人運勢方位毎月吉凶年中必要五十餘種(農家暦)明年各月天候稻麥蠶改良法各月株米絲買方針各商低表を毎年諸商店農家歳暮年玉用數千部注文農家副業に來年三月迄毎月五十圓以上收入證す特約販賣望人至急一冊購求 同時照會次第販賣名法を郵送す

壽寶 一冊定價金十五錢 郵税二錢 農家暦 一冊定價金十五錢 郵税二錢 廣く歳暮年玉用に數部御注文の方は特に割引申上候

發行所 東京本郷區湯島四丁目 高島易斷總本部 神誠館

滿洲へ往く人のみやげは大連で

支那の翡翠、硯、書畫、骨董に限る

大連の方外軒は之を廉價正札に賣る方外軒は北支那第一の支那專門骨董店にて新時代ぶりの正直確實と云ふ定評を受け居れり

京染 取扱 西陣織物各種 白生地 卸販賣 京城永樂町一 たまや呉服店 電一六九六番

新案特許 生殖器眞空療法

●日々來る患者の禮狀と醫師の報告を見よ、誰か本療法を揣摩するものぞ ●生殖器衰弱、發育不全、先天的短小、萎縮、老衰、早漏、遺精、夢精等の一般障害は米國醫科大學教授ホリツク博士の眞空療法にて自身で秘密に根治し得らる(東京の處分せらる奸徒偽器を賣る御注意)ハガキで申込あれ 明細書無代密送 大阪北區北森町 新療法研究所 電話東二七九番

專賣特許 皮かむり自療器械

皮かむりは手淫癖及花柳病等にかゝり易く衞生、生理上に大害あり重症包莖にても何等手術と人手を要せず秘密完全に根治し得て手淫癖も禁止す

入院隨意 (普通病室並に隔離病室) 京城旭町一丁目【鈴木醫院跡】 小林醫院 醫學士 小林千壽 電話六九二番

酒精アルコール 直輸入元 仁川花町(電話六五〇番)電略(サ)振替口座京城五八二番 坂倉伊平商店 京城吉野町一丁目(電話二四四一番) 坂倉伊平支店

新刊書御案內 書名 著者 定價

●時論及思想 宗教 [illegible] 一、三〇
●アツシジの聖フランチエスコ 中山昌樹譯 一、八〇
●セヴアストオポリ 昇曙夢譯 一、八〇
●ブラジル移植民の現狀 伊東 九五
●靜 國水野錬太郎 一、二〇
●頭山滿と玄洋社物語續編 平川晩村 九〇
●地獄 江馬修 一、七五
●生命中心の哲學 三井甲之 一、八〇
●認識論 桑木嚴翼 一、二〇
●銀笛 小杉天外 一、三〇
●醒めたる女 坪內逍遙 一、〇〇
●將棊はめて千態 土井市太郎 三五
●筆草 大町桂月 八〇
●正して用字法 大町桂月 三五
●改訂商業通信 石川文吾 三、三〇
●諸貸金取立法と貸倒れ復活策 一、三〇
●參考化學通解 由添 岡作 一、二〇
●朝鮮風俗集 今村鞆 一、八〇
●朝鮮より富源 鋼村 五五
●學校體操の原理及教育法 向井虎吉 一、五〇
●敎育法與儀 河野清丸 二、四〇

京城本町 大阪屋號書店 電話二〇八三番 振替京城二五七二

ひぜん 芳香ひぜん水 本家 大阪市西區新町通二丁目 田知本和三郎謹製 振替大阪二八一八番 各藥店に販賣す 十二錢 廿五錢 五十錢

瀨戶外科皮膚科醫院 旭町二丁目(舊三丁目) 醫學士 瀨戶潔 診察夜九時まで (電話二四九八番)

明治足袋 廣島市 三宅商會本店 電話四二三番

長孫アガタ、納亞子葬儀の節は遠路御會葬被成下御厚志の段奉深謝候不取敢以紙上御禮申上候也

大正四年十月十八日

親戚 織居加一 谷文藏

總代 北原利男

朝鮮郵船出帆

本社 電話長一九五二番三三三番 鐵道及對外船と荷客連帶輸送の便あり、詳細は支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會願ふ 京城商客取次店 京城南大門通 松原運送店(電話長二一七〇)

全羅丸 十一月一日 / 京畿丸 十月廿五日 / 黃海丸 十月廿八日 / 咸鏡丸 十月十九日 釜山發 門司より釜山各港寄港
穩城丸 十月二十日 / 鏡城丸 十月廿六日 元山發 元山より各港經由雄基行
能登丸 十月廿四日 / 忠淸丸 十一月一日 元山發 城津、淸津、浦潮經由門司
永興丸 毎月廿八回 元山發 北久江方面
嘉島丸 十月廿三日 釜山發 甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行
江陵丸 毎日 (釜山浦項)發 長生浦、方魚津寄港
三浦丸 十月廿一日 釜山發 長承浦、統營、三千浦、麗水、巨文島、濟州島各港行
海州丸 巨濟丸 毎日 釜山發
統營丸 慶尙丸 毎日 釜山發
顯天丸 三日目毎 木浦發
慶興丸 十月十八日 木浦發
公州丸 十月廿三日 木浦發
宗信丸 十月二十日 仁川發
江原丸 十月廿五日 仁川發
晉州丸 十月十九日 / 麗水丸 十月廿三日 仁川發
全南丸 / 陽丸 毎日午前 仁川發
平安丸 十一月十六日 / 十一月十三日 群山發 若松發

日本郵船仁川出帆

○大連太沽牛莊行 高砂丸 十月廿一日 / 三河丸 十一月八日 / 相模丸 十一月三十日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行 秀吉丸 十月廿四日 後四時出帆 / 君が代丸 十月廿七日 後四時出帆 / 神代丸 十月 日 後四時出帆 / 大有丸 十一月 日 後五時出帆
○群山、大阪行 第二太湖丸 / 土海丸 月廿一日 後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話十九番 高杉回漕部

大阪商船仁川出帆

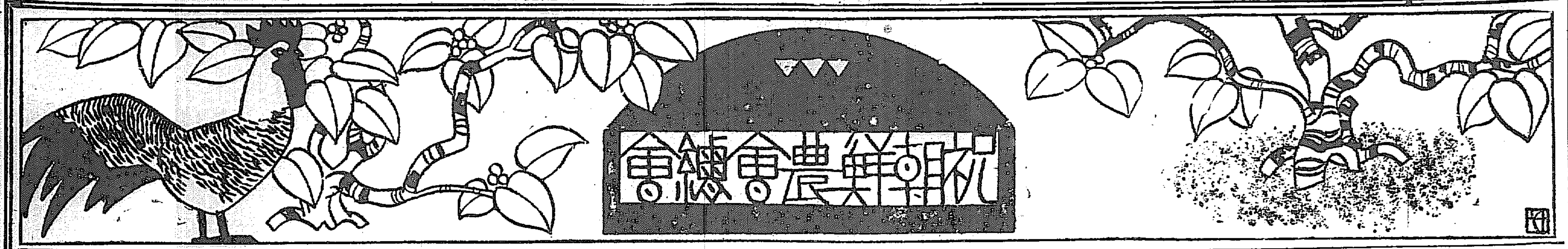
○中國四國沿岸各港行ニ關聯ヲ以テ連絡切符發賣仕候
○外航所屬航路(選擇航路を除く)連絡切符發賣仕候
××○群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行 宮島丸 十月十九日 / 漢城丸 十月廿二日 / 漳州丸 十月廿六日 午後五時出帆
××○木浦、釜山、長崎行(▲は嚴原に寄港) 安東丸 十月廿四日 / ▲天智丸 十月十八日 午後二時出帆
××○鎭南浦、大連行 安東丸 十月二十日 / 天智丸 十月廿八日 午後二時出帆
○○鎭南浦關門神戶大阪行 月 日 / 月 日 正午出帆
△△○群山、釜山、横濱行 千珠丸 十一月一日 / チヨイサン丸 十一月廿一日 午後四時出帆
△△○大連直行 千珠丸 十月廿七日 / チヨイサン丸 十月十六日 正午出帆
○淸津、浦潮行(元山出帆)(▲は城津西湖津に寄港浦項不寄港) 地久丸 十月十九日 / 神宮丸 十月廿九日 / ▲城津丸 十一月四日 午後九時出帆
○上海、基隆、打狗行(大連出帆) 基隆丸 十月廿九日 / 新高丸 十一月六日 午後四時出帆
御注意 ○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道各驛と連絡切符發賣仕候 ○御乘船客は本船出帆約一時間前に御乘船被下度候 ○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り
仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話一二番二二〇番五五〇番
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七八〇番

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戶、大阪行 小倉丸 十月廿六日 後五時出帆
○元山城津浦鹽行 小倉丸 十月 日 後十時出帆
○門司、神戶、大阪行 立神丸 十月十九日 後五時出帆
○元山、淸津、浦鹽行 立神丸 十月廿八日 後十時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、淸津行 第三琴平丸 十月廿二日 後九時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行 第三琴平丸 十月 日 後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天長丸 毎月二日九日十六日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山本町埠頭 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

第十共同丸 芝罘、大連行 十月二十日後二時入港 十月廿二日前九時出港
(鎭南浦にて荷客連絡輸送御取扱仕候 大阪にて荷客連絡定期船に接續荷客共通運賃にて通し輸送御取扱可仕候)
第一阪鶴丸 城津、淸津、浦鹽行(元山出帆) 月 日後九時 月 日出港
第三共同丸 西湖津沿岸各港を經て雄基行(元山出帆) 十月廿三日 十月廿四日前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社
本町一丁目(電話一〇八番) 仁川代理店 山下回漕部
旅日町(電話二四四七番) 元山代理店 田口回漕部
南大門(電話二一六八、二〇一) 京城取次店 河村運送店



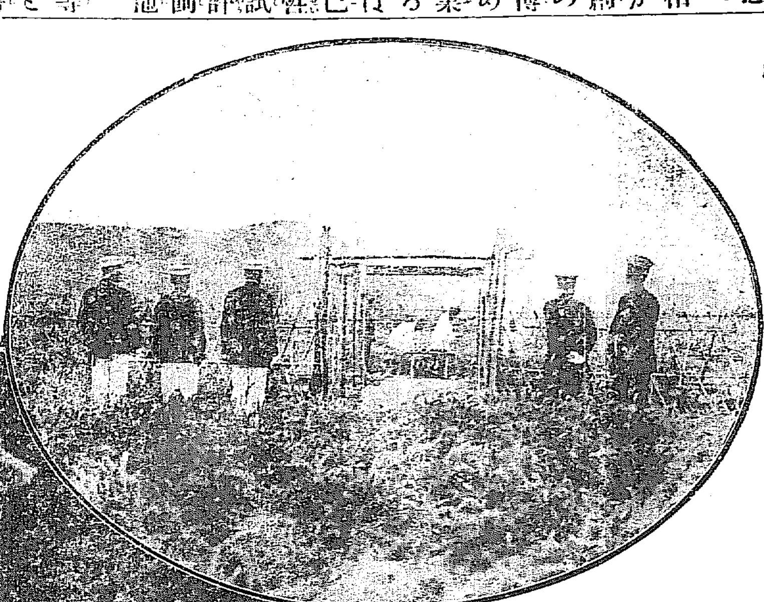
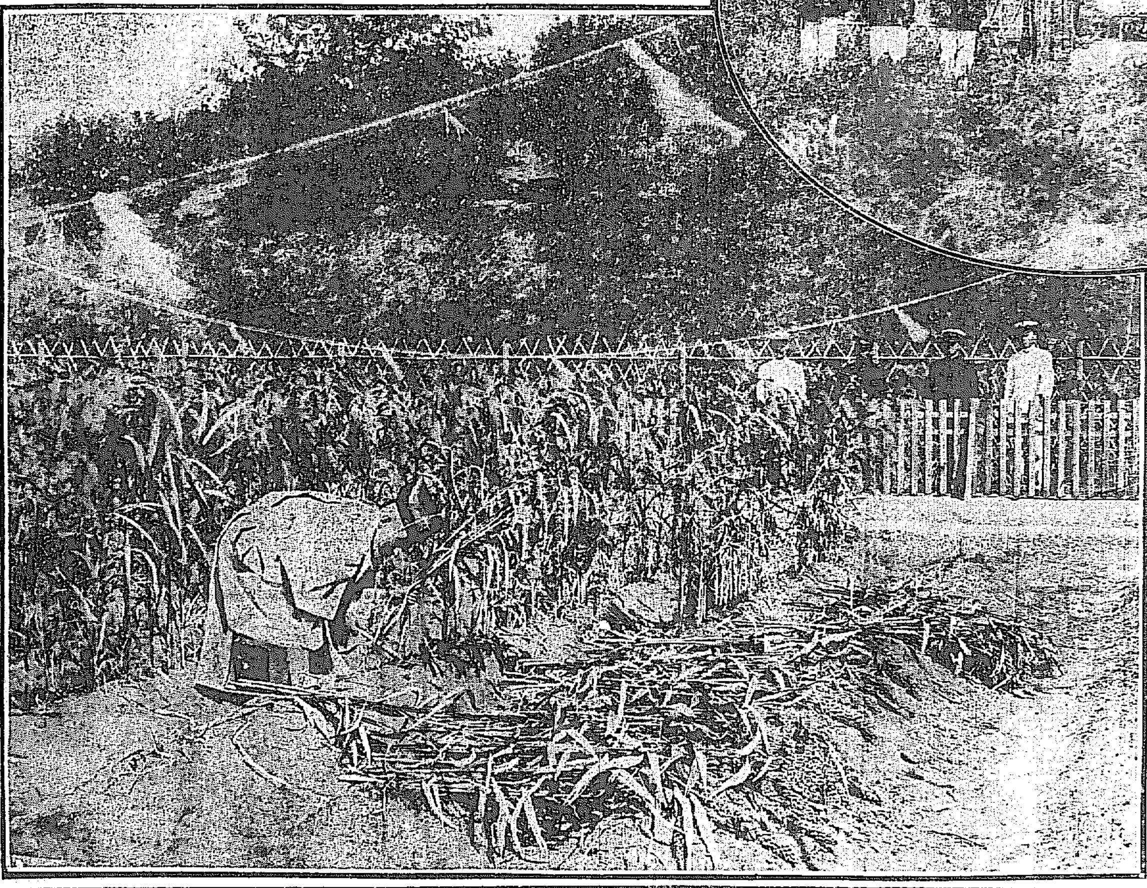
朝鮮農會

朝鮮農會大會は今十八日京城に、十九日は水原に於て開催せられ、朝鮮に於る農林業有志者悉く來りて此盛擧に列す。

抑朝鮮農會は斯業者相互の智識を交換せんが爲め明治三十九年に創設以來、毎月內鮮兩文の會報を發刊し信用を博する頗る大なるものあり、併合前道府郡の産業施設未だ周到ならざる時代に在りては該會は政府の補助若くは自巳の計畫に依て、傍ら土性圖の出版、三椏植栽の試驗、園藝品評會農産品評會の開催、柞蠶の試驗飼育、模範果園の設置其他種畜、種禽、種卵の配付、優良種苗の供給仲介等を行ひたることあれども、近時地方費及び臨時恩賜金に依る各種の助長施設普及するに從ひ、從來の附帶事業を避て專ら主力を會報に注ぎ、以て其効果の擴張に努めつゝあり、大正三年に於ける會員數は內鮮人合計三千餘名に上り、各道に普及せざるなし。

朝鮮の産業は農を以て本となし、農産の豐凶は直ちに朝鮮經濟の消長に關す。而して新政施行五年間に於て、政府の施設經營は固より産業の各般に亙ると雖も、就中最も多く力を注がれしものは農業に在りと謂はざる可らず。今次の物産大共進會に於て、農産の發達は實に群を拔いて顯著なるものあるを看取する亦宜なりと謂ふべし。

思ふに朝鮮の産業は、今後當局者の激勵、當業者の努力に依り、層一層の進歩發展を見るに至るべし。而して農業が依然半島致富の基礎たるべきは疑を容れず。但だ其の歩調の緩急は一に關係當事者の努力の程度に順應すべく、農會員諸子の如きは實に重大なる責務使命を帶ぶるものと謂はざる可らず。此機會に於て希望を述べ、朝鮮農會將來の發展を祈る。

朝鮮の献穀田
（上）慶北齋田の拔穗
（下）鎭南浦齋田の粟刈り

綿の栽培
陸地棉の激增

朝鮮に於ける棉花は被服の原料として消費多く其栽培亦風土の關係上頗る好適なるより咸鏡北道を除くの外栽培せられざる地なし就中全羅南道は其主産地にして作付面積廣く産額多きを以て其生産品は全道に供給し來れり、然るに當局にては其品質の優良ならざると栽培法の幼稚なるに到底産額を增大せしむる能はざるを看取し之れが改良の必要を認めて米棉即ち陸地棉の試作に著手せしに明治三十九年以來其成績常に良好にして收穫、繰綿歩合共に多く品質また優良にして纖維の細長なる紡績原料として遂に

▲在來種に卓絶 せるを催めたるを以て明治四十一年三月之れが特設機關たる臨時棉花栽培所（明治四十三年勸業模範場木浦支場と改稱）を設置し陸地棉栽培の實地指導を爲し、一面栽培反別の擴張を圖るため奬勵金を支出すると同時に毎年無償を以て陸地棉種子を配付せり、而して是等奬勵の結果作付反別は年々二倍以上に擴張し來れるより指導監督の便を圖らむが爲め大正元年度より其栽培奬勵事業を陸地棉栽培地所在各道廳の所管に移し勸業模範場木浦支場に於ては棉作に就き試驗調査の外主として米國より輸入の種子の馴化に勉め兩者相俟て陸地棉の普及及び改良に努力せしむると爲せり之れが奬勵法は玆に省略す可きも

▲陸地棉の栽培 事業は今や試作時代を經て普及時代に及び其栽培希望者益々多く逐年栽培區域を增加しつゝあり、而して栽培奬勵の陸地棉は勸業模範場木浦支場の成績に基きキングスイムプルーフの一種に限定せり、該種は開絮早く從つて霜害を蒙ること少きに依る、今木浦支場に於ける該種と在來棉との八ケ年間の比較試驗に徵するも陸地棉は一反歩當り平均收量二百七十二斤餘其繰綿歩合三割五分餘、在來棉は一反歩當り平均收量百八十一斤、其繰綿歩合二割五分餘を示せり、即ち陸地棉は反當收量多きのみならず其繰綿歩合に於ても亦遙に在來棉を凌駕せり

▲棉花の生産地 たる全羅南道木浦、光州等に於ける棉作と他畑作物との收支計算に依るときは該地方に於ては今日畑作物の收益中陸地棉の右に出づるものなき結果を示せり、一般農民の栽培希望者年々著しく增加し來れる亦偶然ならざるを知る可し左に併合以來の陸地棉作付反別及び收穫高を揭ぐ

年次	作付反別	實棉收穫高
明治四十三年	一,一三三町〇一	八四四,三一四斤
明治四十四年	二,六八三,八〇	二,七五七,四五二
大正元年	六,四三九,八六	七,三一八,一二五
大正二年	一三,九七七,〇八	一三,四四五,三六一
大正三年	三一,〇三三,二〇	一七,三五七,一〇四

備考本表は栽培奬勵中の陸地棉を示したるものにて在來棉は大正二年に於て作付反別四萬三千九百十二町歩實棉收穫高二千二百九萬九千三百十三斤なり

▲輸移出の增加 陸地棉收穫高の年々增加せるは前表の示す如くなるを以て朝鮮より內地へ移出する棉花の內其在來棉と陸地棉との數量は之れを明確に區別すること能はざるも年々移出額中に於ける陸地棉花增加の歩合は極めて多大なること疑を容れず、今既往五箇年間に於て輸移出せる實綿及び繰綿の數量及び合計價格を示せば左の如し

年次	實綿（擔）	繰綿（擔）	合計價格（圓）
明治四十三年	一四,五五三	一〇,九八二	三三四,八〇四
明治四十四年	三,七三三	二,三三三	二四二,三〇九
大正元年	二,四九九	三,三三六	四五三,三九八
大正二年	八,五五一	三六,八〇五	九二四,九四五
大正三年	一,三三八	四三,九八四	一,二〇七,九四三

備考 明治四十四年の輸移出額が明治四十三年に劣れるは棉花相場の下落せると賣惜みの結果輸移出數量減少せるとに依る

祝共進會開催
京城南山町二丁目
森勝次
電話一五六番

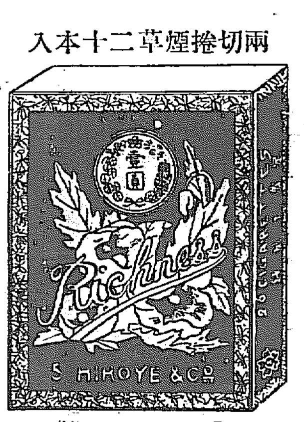
祝共進會開催
家屋新築 丁寧親切 眺望佳絶
來たれ探勝客弓裔の故趾へ！
旅館大和館
京元線鐵原邑內

祝共進會開催
安岳郡邑內西一里
日鮮雜貨卸小賣 ㊇ 山根商店
安岳郡邑內
武本信一郞商店
安岳郡邑內
星野活仁堂商店
安岳郡東倉浦鐵山
藤本某

特許大口式十露盤
製造販賣元
小賣部 大阪市東區今橋二丁目 大口周三郞 電話本局一八二五番
卸部 大阪豊崎町博物場西門北 大口算盤製工場 電話東三四五七番 振替口座大阪三二一番

祝 共進會 家庭博 之成功
株式會社光州農工銀行
支店 濟州島、筏橋浦、榮山浦
所在地 麗水、木浦

祝共進會開催
御料理 平壤貫金町 大同館 電話三〇七番
御旅館 平壤驛前 大同館支店 電話五五一番

新製品 大賣出
大共進會記念として發賣したる兩切煙草一圓票は一般の人氣沸が如し
◎一本の煙草に勞苦を忘れよ。
◎一本の煙草より大理想を發見す。
◎一本の價僅に一厘也
兩切捲煙草二十本入


金貳錢
廣江商會

周到なる勸農機關
總督府の施設と道の經營

舊韓國時代に於ては一般綱紀の弛廢と共に農政亦全く廢退し其風土は農々豐穰の收穫を得べき要素を備ふるに拘らず民衆は常に食物の窮乏に困憊するの狀態なりしより、統監府に於ては設置の當初、先づ以て各種勸農機關の設置を必要とし明治三十九年以來其中央機關として一般農事の爲めには勸業模範場本場を京畿道水原に、支場を慶尙北道大邱及び平安南道平壤の二箇所に、棉作の爲めには臨時棉花栽培所を全羅南道木浦に、園藝の爲めには園藝模範場を京畿道纛島に、蠶業傳習の爲めには女子蠶業講習所を京畿道龍山に創設し、又

▲地方的機關 としては一般農事の爲めに種苗場を前記勸業模範本支場設置以外の各道に設置し、以て各其地方に於ける農業上の調査、試驗、模範、傳習及び種苗配付等に從事せしめたり、降つて明治四十三年韓國併合さるゝや臨時棉花栽培所園藝模範場及び女子蠶業講習所は勸業模範場支場として同場支配の下に統一し種苗場は之を所在道廳の所管に移せしが、大正元年度より地方費の經營となし、又同年度より北朝鮮の園藝に關して元山に勸業模範場出張所の新設を見たり、次いで大正三年三月勸業模範場事務分掌規程を改め大邱、平壤、龍山、の三支場を廢して元山出張所を德源支場と改稱し、新に牧草調査の爲め江原道平康郡洗浦に

▲洗浦出張所 を設け、また原蠶種製造の爲め水原に原蠶種製造所を置き、更に龍山支場の下に在りし女子蠶業講習所を水原に移せり、而して大邱、平壤の二支場を廢せるは該支場に於て從來施行しゐたる普通農事の改良指導に關する業務は道種苗場として經營の便なるを認め、其業務を道に繼承せしめたるが爲めにして又た龍山支場を廢せるは原蠶種製造所新設の結果なり、斯くて勸業機關の配置は概ね周到を告げ以て今日に到れるものなるが各道に於ては上記機關の外尙ほ農業事務處辦の爲め技師、技手巡回敎師等を配置し以て指導奬勵に遺憾なきを期しつゝあり

稻と果物
（上）纛島農場の葡萄（中）京城近郊の稻田（下）水原模範場の瓜

米の作附反別と收穫高
主要奬勵事項並に其効果

米は鮮內の需要品として又輸移出品として農產物中最も重要なるものなること言を俟ず、總督府は勿論各道に於ては極力之れが生產の增加と品質の向上を企圖すると共に一面麥、甘藷、馬鈴薯等の生產を增し、可及的米の朝鮮內に於ける消費の程度を少からしめ且つ其輸移出稅及び內地の移入稅を撤廢して以て優良なる輸移出米の增加を計りつゝあり、而して新政施行以來米作の改良上最も力を注ぎたるは優良米種の普及、乾燥調製の改良、灌漑水の供給並に畓面積の擴張及び施行奬勵の四點なりとす

▲米種の改良 米種の改良に就きては先づ勸業模範場及び道種苗場に於て優良種の撰擇に關する試驗研究を行ひ米稻に在りては概ね『日の出』は北部に『早神力、石白、多摩錦』は中部に『穀良都、高千穗』は南部に、又陸稻に在りては各道を通じて『オイラン』其成績優良なるを確めたるより水陸稻共に模範となるべき畓田を設置し、或は品評會を開催し、以て農民に優良米種栽培の利益を目睹せしめ、又は採種畓田を設け可成多量の優良種子を育成して其配付を行ひ、又は品評會開催の機を利用し或は特に種子交換會を開催して民間に育成せる優良米種と在來米種との交換を奬勵し以て優良米種の普及に勉めたり

▲乾燥調製法 乾燥調製法の改良に就ては稻扱器、籾摺器、製莚器等の配付を行ふと共に稻扱傳習會、製莚繩傳習會等を開催し、是等器具の使用法又は製莚法を習得せしめ、收穫は可成適期に之れを行はしめ、調製上には莚及び稻扱器の使用を奬勵して朝鮮米の最大缺點たる石の除去に力を用ゐしめ、稻の收穫に際しては平乾を行ひ、籾の乾燥には莚を用ゐしめ、特に輸移出米產地に對しては乾燥調製改良の速かならむことを期しつゝあり

▲施肥及灌漑 施肥の奬勵に就きては農家各自の力に依りて製造し得可き厩肥、堆肥、綠肥等の類を努めて多量に製造施用せしめ、尙ほ販賣肥料に關しては先づ大豆、大豆粕、荏子粕等の如き使用容易なるものより漸次奬勵せり灌漑水の供給、畓面積の擴張に就ては堤堰及び洑の修築を奬勵し、國有未墾地の利用を進め或は個人、地主の共同水利組合等企業の水利事業を指導監督し、灌漑水の不足の畓に灌漑水を供給すると共に畓面積の擴張を圖れり

▲米作の增收 米作の改良增殖に就きては右の外稗、赤米の混淆は朝鮮米の聲價を損すること大なるのみならず收量に影響すること少からざるを以て稗の除却は苗代及び本畓に於ける稗拔に依り赤米の除却は大正二年より勵行の選穗に依らしむることゝし又稻作に對する病蟲害の豫防驅除に就きては他の作物と同じく不斷農民の注意を喚起し苟くも損害を蒙らしめざることに注意しつゝあり如上施設の效果は極めて顯著にて、優良米種の作付反別は年々數倍の增加を示し乾燥調製の改良漸次進み、稗拔の效果亦顯はれ、朝鮮米の品質大に向上したり、今米收穫高累年增加狀況、並に米輸移出五箇年對照表を示せば別表の如し

▲米作付反別及收穫高五箇年間增加狀況

年次	作付反別	明治四十三年を百とし每年の作付反別指數	收穫高	明治四十三年を百とし每年收穫高指數
明治四十三年	八二五、六八六、九	一〇〇	七、九一七、六二一	一〇〇
明治四十四年	九六二、四八六、三	一一七	九、九七二、七一二	一二六
大正元年	九八一、九四三、一	一一九	八、九八二、〇〇〇	一一三
大正二年	一、〇四六、〇四七、一	一二七	一〇、〇九〇、六四五	一二六
大正三年	一、〇七九、三四一、二	一三一	一二、一五九、一六七	一五四

▲米輸移出額五箇年間對照表

年次	數量	明治四十四年を百とし每年の數量指數	價格	明治四十四年を百とし每年の價格指數
明治四十三年	七七九、五二一石	一〇〇	六、二七七、七五二圓	一〇〇
明治四十四年	五四四、〇六三	一〇〇	五、二八三、七七二	一〇〇
大正元年	五四三、三九七	一〇〇	七、五二四、八七九	一四二
大正二年	八七二、二二九	一六〇	一四、四九三、五七七	二七四
大正三年	一、三六七、四四九	二五一	一七、〇九八、五八三	三二三

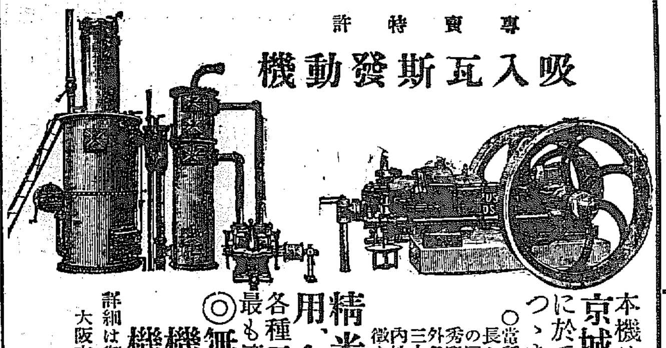
備考　數量は玄米を以て示す

國有未墾地

大正三年中に於ける國有未墾地の貸付面積は一萬七百九十八町步にして前年來のものを累計するときは實に二萬九千百九十八町步に達し其內既に開墾事業を終へたる土地の附與拂下を受けたるもの一千百六町步を算せり、而して同年中許可を受けたるものゝ內には許可面積廣大なるもの多く其大部分は既に事業に著手し完全なる設計と適當なる資本を投じて工事を進行しつゝあるを以て事業成功の上は多大の耕地を得るに至る可く一面農民を保護する目的を以て小面積地の利用を奬勵し之れが貸付手續を容易ならしめたるに其成績良好にして到る處之れが利用を見るに至

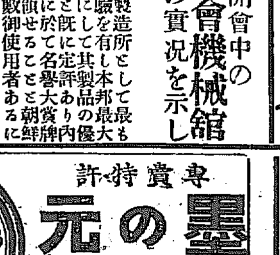
寫眞
寫眞出張撮影
寫眞銅版、亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も鄭寧に迅速と可及的親切を旨とし御高需に應ぜんとす
京城日報社 寫眞製版部

吸入瓦斯發動機
▲朝鮮に於ける供給先▼
釜山土城町 朝鮮瓦斯電氣會社
釜山富平町 阿部製麵工場
釜山岸本町 石川精米所
釜山岸本町 石川眞平殿
釜山辨天町 山宮商店
京城南門外 侍井精米所
鳥致院驛 岡精米所
慶南統營港 福島精米所
京畿道龍仁郡 龍仁金山
慶北尙州郡 尙永金山
咸南永興郡 求興金山
咸南定平郡 成大同金山
黃海長淵郡 小林樂山鑛業所
黃海白川郡 江西金山
平北昌城郡 安川昌城金山
元山新町 野本製材所
元山本町 森川鐵工所
平壤 平壤磁器製造會社
平壤 普通洞揚水場
平壤 崔中建氏農場
江原春川 福豐社揚水場
全北全州 東亞煙草會社
全南麗水港 山野精米所
全南港門島 港門島燈臺
全南下鳥島 下鳥島燈臺
大阪府西成郡鷺洲町大仁
發動機製造株式會社
社長 工學博士 黑川勇熊

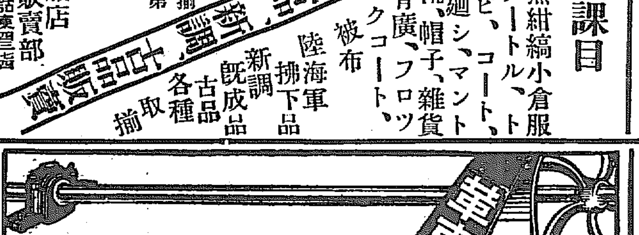
專賣特許 吸入瓦斯發動機

本機は目下開會中の京城共進會機械館に於て運轉の實況を示しつゝあり
○當所は發動機製造所として最も長き研究と經驗を有し本邦最大の同機製造所にして其製品の優秀堅牢なること既に定評あり內外各地博覽會に於て名譽大賞牌三十一個を受領せることと朝鮮內地に最も多數御使用者あるに徵して明なり
精米業、田面灌漑用、金鑛精煉用其他各種工業の原動力として最も適當なり
◎無點火石油發動機及船用高壓石油機關も製作販賣す
詳細は御照會次第迅速說明書送呈す
大阪市北區上福島北二丁目 伏田鐵工所 電話土佐堀九三二番

米國製單發獵銃特價提供
ブローニング自働銃
十二番經霰彈打五連發
新荷著
霰彈に限り蛇の目印に限り申候
型錄定價表送呈
蛇の目印霰彈製造本舖
歐米銃砲直輸入商 仁明社
大阪市安堂寺橋通二丁目
電話南一八〇六番 南四二〇七番
振替大阪二二六五番

今般地方通信販賣部を新設し專ら親切丁寧を旨とし初めて洋服商を營まるゝ御方にも極容易に解し得らるゝ樣寸法取法及見本取揃へ置候間御一報次第御送附仕候
大阪市東區谷町二丁目八三
萩原洋服店 通信販賣部
振替大阪一六四二 電話東四三一番
洋服 既成品 小倉 大安賣
營業課目
絨、黑紺縞小倉服、卷ゲートル、トンビ、コート、引廻シ、マント、靴、帽子、雜貨、脊廣、フロックコート、被布、陸海軍拂下品、新調既成品、古品各種取揃

專賣特許
墨の元（一名開明墨汁）

兒童一ケ月墨代 金一錢
時間と金の經濟（タイム エンド マネー エコノミー）
太郎と二郎の會話
太郎「ヤッ！しまつたモー十五分過ぎにまだ墨がすれない君如何せう？」こはあはてたもの、
二郎「見給へだから早くスラズに直ぐ使へる田口の墨の元を使へと云つたじやないか第一時間の經濟だソシテ費用は一ケ月僅か一錢迄で充分だ、それ僕はモー幾枚も練習した」と頗る落ち附いたもの然して校內で二郎君第一番の能書家

賜宮內省御買上之光榮
於大正博覽會金牌受領
學習院諸大中小學校御用
東京市立各小學校優良撰拔指定品
●學校の御申込は見本進呈
●粗惡なる類似品あり特に田口製と御指名を乞ふ
墨汁煉墨開祖
田口商會大阪支店
大阪市北區東現橋町


車軸各種 シャフト ロープ車 式樣メタル各種 專門製作
諸機械 傳動裝置
大正四年度七月改正定價表無料送呈仕候
大阪市西區立賣堀北通四丁目
合資會社 松井兄弟商會本店
電話西（圖）二七九六番 一四八三番
振替大阪二三四三番

主要製品
一、桃印、菊水印、達磨印、鈴印ボイルド油
一、牛脂、ヘット
一、カブト印テレメン油
一、全印精製コールタール
一、木材防腐殺虫鈴印クレオソート油
一、コールタールピッチ
一、鈴印ウッドタール
一、諸機械油
其他諸油脂塗料類製造
大阪市西區北境川町
合資會社 吉川製油所
支店 同市南區內安堂寺町谷町角（電話南三三〇六番）
工場 同市東區內久寶寺町二丁目（電話南三三〇七番）
名古屋市中區仲之町
合資會社 吉川製油所出張所
吉川製油所報御申越次第無代進呈

累年の耕地面積
既往五箇年間の増加比較

總督府にては從來意を墾地の利用増進に用ひ、一面土地改良事業の奬勵に依りて天水畓に灌漑の設備を施し或は田に灌漑して畓を開き極力耕地の擴張と之れが改良とに勉め來れる結果開墾事業又は灌漑事業を企つるもの漸次増加し併合當時の耕地面積二百三十九萬九千八百四十二町餘歩なりしもの大正三年末に於ては二百九十五萬九千百五十八町餘を算せり、既往五箇年間に於ける各年の耕地面積を掲ぐれば左の如し

年別	畓反別	田反別	計
明治四十三年	八四〇、九八三、三	一、五五八、八五八、七	二、三九九、八四二、〇
明治四十四年	一、〇〇三、八一四、二	一、七一四、三九七、八	二、七一八、二一二、〇
大正元年	一、〇〇四、三五六、八	一、八二三、一六八、三	二、八四七、五二五、一
大正二年	一、〇六九、六一〇、八	一、八二〇、九七〇、〇	二、八九〇、五八五、一
大正三年	一、〇八九、三二〇、八	一、八六九、八三八、〇	二、九五九、一五八、九

重要穀類
作付反別と收穫高

▲麥作の狀況 麥は農家の食料品として重要なるものなるを以て南鮮地方に於ては灌漑の水充分なる畓の裏作として奬勵し一面洪水浸害ある土地の利用を促進し之が作付反別の擴張を圖ると共に勸業模範場及び道種苗場をして品種の選擇を行はしめ其成績の優良なるもの丶採種及び配付を行ひ又施肥の奬勵、病蟲害驅除豫防の督勵等栽培上の指導に勉めたる結果其作附反別並に收穫高は追年激增し併合當時にありては作附反別四十四萬一千六百六十三町歩(裏作不詳)收穫高三百五十四萬八千四百四十一石(裏作不詳)なりしもの大正三年に於ては畓の裏作を合し作付反別は七百九十八萬八十七町八反歩、收穫高七百二十一萬三千八百七十石の激增を示せり

▲大豆收穫高 朝鮮の大豆は其品質頗る優良にして輸移出品として重要の地位を占むるを以て其生産を增進し品質を向上せしめ一意輸移出量の增加に盡しつゝあり大豆は從來各地とも品質優良のものを産せりと雖も各種の品種混淆せると調製法の粗雜なるとに依り商品として價値を損すること尠からざるのみならず品種の混淆は收量に及ぼす影響少からざるが故に先づ種子用大豆の粒選に重きを措き、傍ら優良なる品種を選みて之れが普及に努め一面金融組合を利用し或は契を設立せしめ調製俵裝の改良、共同販賣等を行はしめたり、此の結果は粒選を行ふもの漸次多きを加へ、優良品種の作付反別亦追年增加し明治四十三年に於ては三十萬五千百九十八町四反歩に對する收穫高百八十一萬六千五百八十二石なりしもの大正三年に於て作付反別四十二萬五千四百五十五町、收穫高二百四十六萬四千六百十三石を算せり

▲粟益々增收 粟は北部地方に於ける主食食物にして其作附反別甚だ多きも他の作物との關係上、未だ其作付反別の奬勵を爲すに至らず專ら勸業模範場及び道種苗場等をして地方の風土に適せる優良種の選擇及び其種子の配付を行はしむると同時に栽培上の指導を爲さしめ、又一方に於ては農家をして種子用の選種を行はしめ、專ら增收に努め來りたる結果併合當時に於ては三十九萬二千九百八十四町八反歩の作付反別に對する收穫高は二百六十四萬八百九十石なりしも大正三年に在りては四十七萬三千八十一町六反歩の作付反別に對し三百二十一萬二千四百六十四石の收穫高を數ふる好成績を得たり

養蠶の發達
移出亦激增

朝鮮の風土は能く蠶兒の發育及び桑樹の栽培に適し農家の副業として最も有利なるを以て河川流域の未墾地、田の畦畔、又は宅地の周圍を利用して桑樹を栽培せしめ、各地に於て得易き材料を以て蠶具を作り假令少量なりとも優良蠶種を進歩せる技術に依りて汎く飼育せしむるときは農產中主要の位置を占め一般經濟の發達に資する所少からざるを認め從來蠶業上主要なる地方に技術官を配置し蠶業に關する指導奬勵の任に當らしむると同時に勸業模範場をして

▲蠶業の講習 桑苗種の生産配付を行はしめ、一面には補助金を交付して各地に蠶業傳習所、稚蠶共同飼育所、模範桑園及び桑苗圃の設置を奬勵し來りたるが大正元年に於ては特に訓令を發して蠶業奬勵上の方針を示すと同時に産繭の統一を圖らむが爲め勸業模範場に原蠶種製造所を設けて原蠶種の製造配付に著手し或は繭の輸移出を奬勵せむ爲め繭に對する關税を撤廢し、大正三年以來は更に其步を進め補助金を交付して優良蠶種の製造を奬むる等極力斯業の改良發達に勉めたる結果優良桑の栽培並に優良蠶種の飼育は到る處に行はれて著しく繭産額の增加を見るに至れるのみならず、蠶具の製作使用技術は大に進步し、栽桑育蠶の亦隨所に行はれて

▲産繭の品質を向上せしめたること頗る大なり、即ち明治四十三年に於ける桑畑反別は三千三百四十四町歩にして養蠶戸數七萬六千三百十七戸、七萬七千六百枚の蠶兒掃立數に對する繭産額は一萬三千九百三十一石なりしもの大正三年に於ては桑畑反別一萬二百四十六町歩となり、養蠶戸數十七萬七千三百二十戸に激增し蠶兒掃立數二十三萬八千四十二枚に對する繭産額は四萬六千百九十四石を算するに至れり、而して之等の産繭中優良繭は各道斡旋の下に內地移出を奬勵せるが其成績亦顯著にして明治四十三年中に於ける繭移出は漸く百四十六石に過ぎざりしも大正三年中には一萬一千六百九十五石を移出したり

朝鮮農會第二總會順序

十月十八日 午前九時開會
一、副會頭式辭
二、會務報告(印刷物配付)
三、役員推選
四、總督閣下祝辭
五、來賓祝辭
六、講演
中井理學博士 矢作法學博士
本多林學博士 古在農學博士
豐永農學博士
講演終了當日解散

十月十九日 午前九時開會(於水原)
一、講演 本田副會頭、向坂技師、宮原技師
二、參觀(午後)
(一)農林學校
(二)原蠶種製造所(附女子蠶業講習所)
(三)勸業模範場
午後五時三十八分水原驛發歸京

十月二十日 午前十時秘苑拜觀

農産物輸移出額

大正三年中に於ける重要農産物の輸移出數量及び價格を見るに米百三十六萬七千四百七十九石、價格一千七百九十萬八千五百八十三圓、麥三萬八千八百五十七石、二十萬二千七百九十二圓、大豆五十三萬六千七百三十七石、三百八十一萬九千二百八十圓、生牛二萬二千八百十九頭、八十一萬五千五百四十八圓、家蠶繭一萬一千六百九十五石、四十一萬二千九百四十七圓、小豆三萬三千二百二石、三十三萬一千七百四十三圓にして牛皮は四百二十五萬四千九百五十一斤、百五十九萬七千七百三十六圓なり

畜牛の增殖
輸移出好況

▲改良及增殖 畜牛は朝鮮の農業上缺ぐ可からざる要素なると共に輸移出品中重要なる位置を占むるを以て其改良增殖の急務なるは言を俟たず、總督府に於ては同種改良の方針を樹て、朝鮮種の優良牡牛を購入配付し或は民有の優良牡牛を選抜して之れを保護し種用に供せしめ、或は牝牛を農民に貸與して蕃殖用に充てしむる外或は畜産組合を設けて適當なる技術員を配置し實地指導に從事せしめ或は姙牛及び牝犢の屠殺を取締る等諸般奬勵の途を講じ來れる上併合當時に在りては全總數七十萬三千八百四十四頭なりしも大正三年に於ては百三十三萬七千六百八十六頭に激增せるのみならず其形質に於ても漸次改良の効を奏するに至れり

▲輸移出狀況 朝鮮牛は順良にして能く勞役に耐ゆるの美質を有するが爲め內地に於て耕牛として需要さるゝもの多く其移出數亦追年增加を示し明治四十三年に在りては一千三百十九頭の移出なりしが大正三年に於ては一萬一千五百十七頭に進み面かも前途極めて多望なり、又た輸出に在りては從來朝鮮牛の露領方面に出づるもの少からざりしが北鮮に於ける主要輸出業者破産の危に遭ひし爲め一時減少を見るに至りしも時局の勃發以來露國に於ける朝鮮牛の需要增加と共に輸出を試むる者現はれ大正三年中に於ては一萬百六頭の輸出を見るに至れり

新刊と批評 (批評希望者は必ず二部寄贈の事)

▲公文用字修(江原善槌著) 本書は朝鮮に於ける諸公文用字修を叮嚀に記述せしものなれば內鮮人を問はず必ず座右に備へざるべからざる好著なり(東京神田清水書店一圓)

▲積分學(吉田好九郎譯) 獨逸のキーポート氏著の飜譯なり理論の嚴正を失せず懇切平易に譯述したるものにて積分學獨習書として最も適切なるものなるべし(東京神田富山房二圓八十錢)

▲漢文大系(二十卷) 本書は宇野東山が片山兼山の校訂せるものによりて重校して標註を施したるもの本及び服部南郭等の校訂せるものを參照して更に校訂を加へたるものなり其收むる處淮南子と孔子家語の二篇なり(東京神田富山房二圓五十錢)

▲英雄と修養(加藤咄堂著) 英雄史の事業にもあらず靜寂たる彼等が心靈の修養にあり之れを加藤氏一流の筆致にて記述せし處却々に妙味あり(東京牛込區神樂町一東亞堂書房九十錢)

▲美女の死骸(上司小劍著) 中央公論に掲載されたる著者の最近創設小說美女の死骸外二篇を收めたり(東京神田區表神保町三東京堂十五錢郵税二錢)

▲乾浴長生術(石原保秀著) 同法は各種の呼吸法運動法の各特長を具備し老人小人にても容易に出來得る長生術なりと著者は頻りに本書にて主張せり(東京牛込區矢來町三矢來堂出版部八十錢)

▲狸爺家族(長田偶得著) 本書收むる總べて八篇何れも家庭の心跡を寫し傍ら江戸時代の片影を示す各篇一意離れず自ら暗線の貫通する處赤裸々の家族躍如たり(東京本郷區弓町一の一成功雜誌社七十錢)

▲皇國補習讀本(中村翁、高木武共編) 初程篇高程篇の二冊よりなり何れも都市用なり小學補習科、實業補習學校、青年夜學會及壯士の入營準備教育等の國語科用教科書たり(東京日本橋區本石町三寶文館一部二十五錢)

痳病梅毒

◎痳病療法に付て

▲醫術の進步に供ひ痳疾治療法は諸大家の競て研究し內服藥は勿論洗滌法注射法等種々立案ありと雖も未だ完全なる結果を見ず今猶醫學者間研究中なり然るに本舖發賣の治痳藥は昨年二月發行以來今日迄數千の患者に付實驗する所實に百發百中とも謂ふ可き成績を現はし且つ多數の醫師に於ても本劑を專用するもの次第に增加するに至れり殊に本劑は醫藥界に於て痳疾特効藥として雷名高き『ボロウエルチン』並に『サンタール油』に當舖秘傳藥を配劑調製したるものなれば治痳藥として本劑の秀絕したる事故なきに非ざる也患者諸氏世の誇大なる山師的の廣告に迷はされ安價なる粗製品或は痳病藥として醫藥に列なき一日分四十錢乃至五十錢にも當る暴價を以て購者さるゝ愚を學ばず「斯る法外なる商價藥を購ふ時は必ず醫師又は藥劑師に課りたる上購ふ可し」本舘の治痳藥は主藥公開しある通りなれば素人は勿論醫師用として無比の治痳良劑なり

治痳藥
一週分カフセル五十個入 金一圓二十錢
二週分 同 百個入 金二圓二十錢

治痳球
一週分カフセル五十個入 金六十錢
二週分 同 百個入 金一圓十錢

◎梅毒秘密療法に付て

▲梅毒療法 種類を擧ぐれば(一)六〇六號注射療法、(二)水銀劑注射法、(三)塗擦療法(四)吸烟療法、(五)各種內服藥(六)浴療法 以上六種であるが一得あれば一失あつて六〇六號の如き速効あるものは恐る可き危險を伴ひ亦藥毒少き者は効能薄く未だ完備驅梅法の現出を見ず然るに梅毒は人の厭惡する病なれば患者は總て隱蔽し不慮の不幸に陷入るもの多き者なれば善良なる秘密療法は急務中の急務なり。弊舘茲に見る處あり中島、渡邊兩藥劑師を聘し世界に有ゆる驅梅藥を集蒐し研究に研究を重ね苦心慘憺の結果茲に發見したる秘密療法として實に理想的良劑也本劑の特長は
第一 梅毒患者血管中の梅毒菌を藥自體に吸收し兩便より藥と共に排出せしむ
第二 本劑は他の梅毒藥の如く齒齦を害し或は血行障害を來すが如く恐る可き副作用なきのみならず連服すれば反て動脈を軟化し血液の順環善良ならしめ隨て酸素の供給を增し患者をして益々壯健ならしむ
第三 梅毒治療の爲め『六〇六號』『サルウワルサン』の藥毒或は水銀劑又は鉛毒等の中毒を受けたる者に對し有力なる驅毒の作用あり
以上三大特長あるものなれば秘密療法として實に理想的良劑也六〇六號療法其他各種の治療を以て無効なる人と雖ども落膽せず一日も早く本劑を御試用あれ

根治丸
一週分 金六十錢

擔任藥劑師 中島義次
助手藥劑師 渡邊力
京城南大門通四丁目
救世藥館 電話二五九番 振替口座二二六八番

『賣藥』『製丸』『製藥』製造の依賴に應ず

本邦及英米國政府 專賣特許

滋養強壯料

▲甚しき臭味を忍びて肝油を飲用すべき時代は去れり▼
▲咀嚼して美味無臭容易に定量の肝油を食用し得べき▼

河合龜太郎氏創製

◎肝油ドロップス

(現品縮寫圖)

肝油含量一顆一グラム 一日二回乃至三回服用
五歳以下 一回一顆又は二顆 一日二顆乃至四顆
十歳以下 一回二顆又は三顆 一日四顆乃至六顆
十五歳以下 一回三顆又は四顆 一日六顆乃至八顆
大人 一回三顆又は五顆 一日八顆乃至十五顆

▲用法▼ 普通菓子の如く食すべし又は之を以て細片に碎り冷水或は微溫湯にて嚥下するも妨なし

定價 五十顆入 金七十錢 百二十顆入 一圓卅五錢 徑方百顆入 [illegible]

肝油が一般の虛弱者、羸瘦者、結核性素質者、營養不良に起因する眼病患者、腺病質の兒童等に對し、治療上缺くべからざる滋養劑として內科、眼科、小兒科等の醫家に處方せられ、卓効を奏するは、醫療上の定論なり、然れども其特有の臭味、甚だしく不快なるが故に其服用を嫌忌せらるゝを慨し、河合氏多年苦心研究の結果、形狀洋菓ドロップスに似て、麥芽糖及び可溶性の含窒素物を基礎とし、一顆毎に精製純良の肝油一瓦宛を正確に含有し、乳化完全にして分布極めて細密、美味無臭にして而かも容易に食用し得べき「肝油ドロップス」を創製す、本品は從來の肝油諸製品に優り、服用に面倒なる手數、携帶の不便、變敗の迅速なる等の缺點なく、殆ど本質の肝油たる事を忘れ、兒童は勿論何人も好んで食用し得ると、酷暑の候と雖も、冬季と異る事なく消化吸收の作用頗る良好なる事とは本品の最も優秀なる特色とする處なり

專賣特許◎登錄商標
肝油ドロップス
肝油含量一顆一瓦にして麥芽糖及び可溶性含窒素物を以て成る

◎肝油ドロップスは如斯人の滋養料として最も適當なり
一、顏の色が蒼白くて艶無き人
一、皮膚の紋理が麤くザラ〳〵してゐる人
一、身體一般に貧血してゐる人
一、之といふ病氣はなくても何と無く弱く感冒に罹り易い人
一、筋肉の目立て瘦せてゐる人
一、手足が冷て寢られぬといふやうな纖弱い人
一、色が蒼くて肉瘦せ、而して活潑ならぬ所謂腺病的の小兒
一、頸が細長く、頰が瘦け、咳嗽や痰の人並より多く出る所謂結核素質のある人
一、筋肉を太らせ、無病壯健に元氣よく活動せんとする人
一、身體一般脂肪氣の少き人
一、顏や手先きを滑こくし度人
一、産前産後の滋養を計らうとする人

登錄商標◎專賣特許
複方 肝油ドロップス
肝油の含量を半減して有機鐵、有機燐、及び石灰、規那等を含有せしむ

◎複方肝油ドロップスは如斯人の滋養料として最も適當なり
一、骨の故障即ち佝僂病骨軟化其の他種々の骨病ある人
一、營養不良から來れる眼病例へば夜盲症や網膜貧血に罹れる人
一、腺病(瘰癧)に罹れる小兒
一、發育不全の小兒
一、貧血病になつてゐる人
一、肺結核其他結核的の病に罹つてゐる人
一、腦神經衰弱、ヒポコンデリー、ヒステリーなどの神經病に惱まされてゐる人
一、陰萎、遺精などの生殖器神經衰弱に罹れる人
一、病後の衰弱を速く回復したい人
一、心臟病に罹れる人
一、右の外種々の病に罹つてゐる人の滋養物として理想の良食物である

▲賣捌=全國到る處の藥舖、洋酒食料品店、化粧品店、小間物店▼

本舖
ミツワ石鹼
ミツワ椿油
ミツワ家庭藥
肝油ドロップス
御園化粧品

發賣元 ◎ 登錄商號
丸見屋商店
東京市日本橋區橋町四丁目
藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋
電信略號○ミヤ……振替貯金口座東京七一〇番
營業部 電話浪花三〇四四八・四四九・四五〇番

□形小にして實質大册に優る

新刊重版

東亞堂の 縮刷 名著叢書

□天には星河あり、野邊には秋の千草あり
□書齋には『縮刷名著叢書』なかる可らず

黒頭巾 横山健堂先生著 (箱入美本四百卅頁 正價壹圓 送料八錢)

人物と事業

人物あるか、事業あるか。著者が燃犀の史眼を以て行く所として可ならざるなき其の該博の趣味は、絢爛花の如き詩筆と相俟つて、史上の快傑數十人を拉し來り、人物によりて事業を論じ、事業によりて人物を傳し、時代を論じ、風俗を品し、逸話を評し、稗史を究め、湧くが如き興味の間に世道人情の變遷と、歴史の哲理とを暗示して一讀人心を新たならしむ。近時出色の一大快文字也。

嘉悅孝子先生著 (箱入美本三百六十頁 正價八拾錢 送料八錢)

花より實を取れ

明治天皇は戊申詔書に於て『華を去り、實に就け』と訓示し給へり。實を忘れて華に就き、理を離れて情に殉ずるは人の弱點。而も婦女子に於て殊に其の甚しきを見る。嘉悅先生『近時滔々として虚榮に誤まらるる者多きを憂ひ、修養の上より、家政の上より、社交の上より、經濟の上より、一々日常の實際問題に基き、人の人たる道を講じて、世人の迷妄を一掃し叮嚀親切を極む。男女を問はず必ず一讀すべき名著也。

加藤咄堂先生著 (箱入天金美本四百卅頁 正價九拾錢 送料八錢)

縮刷 英雄と修養

西郷南洲曰く『剛膽ならむと欲せば英雄の爲せる迹に學べ』と。修養の大秘訣は偉人英雄の先蹤を尋ねるより近きはなし。然も英雄の事蹟の如何なる點を學ぶべきかは、實に甚だ會得し易からず。著者乃ち空海道眞西行親鸞重盛賴朝義經時宗日蓮正成一休謙信信長秀吉清正氏郷家康政宗其他の諸英雄が、山て偉人たり人傑たるに到りたる道程を研究し、以て人格鍛錬の活模範を示さる。壯快無比の書也。

曹洞宗大學長 秋野孝道師著 (天金美本四百餘頁 正價壹圓 送料八錢)

禪の活用

禪の尚ぶべきは、其活用にあり。打坐幾年、假令百千萬の公案を透脱すとも、其大機大用を會せずんば、究竟鬼窟裏の活計に過ぎず。秋野老師初學の爲めに且らく言說を設けて禪學入門の最捷徑を示され、立を開き徹を發し、叮嚀親切、之を行坐語默動靜の間に活用して與奪縱横活殺自在の大定力を體得せしむ。若し夫れ心身の修養に、膽力の養成の如きに至つては眞に尋常の茶飯事のみ、志あるの士は必ず一讀あれ。

發行所 東京牛込見付 (振替東京一七一七 電話番町五三七) 東亞堂 (大阪) 盛文館 輻音社

前田慧雲博士著 修養の極致 (正價壹圓)
[illegible]神宗先生著 歷史の教訓 (正價壹圓)
今井石禪老師著 向上の一路 (正價壹圓)
棚橋絢子先生著 女らしく (正價八拾錢)
矢野龍溪先生著 縮刷 出鱈目の記 (正價壹圓)
[illegible]理學博士著 禪學真髓 (正價壹圓)
加藤咄堂先生著 縮刷 處世講話 (正價九拾錢)
大町桂月先生著 男の中の男 (正價壹圓)
忽滑谷快天先生著 禪の妙味 參禪道話 (正價壹圓)
村上專精博士著 成功の時機 (正價壹圓)
巖谷小波先生著 桃太郎主義の教育 (正價九拾錢)
大内青巒先生著 道は近きにあり (正價壹圓)
加藤咄堂 大住嘯風先生 縮刷 常識之基礎 (價壹圓廿錢)
前田慧雲博士著 修養と信仰 (正價壹圓)
幸田露伴博士 立志立功 (正價九拾錢)
[illegible]城先生著 當世策士傳 (正價壹圓廿錢)
前田慧雲博士著 信は力なり (正價九拾錢)
加藤咄堂先生著 縮刷 修養論 (正價壹圓廿錢)
幸田露伴博士著 縮刷 努力論 (正價壹圓)
◎送費一册に付金八錢

東京帝國大學文科大學教授 文學博士 箕作元八先生著

西洋史話

國民學藝叢書 第一編

菊判箱入頗美本挿畫數十個かな付六百卅餘頁 正價貳圓五十錢 五千部限 特價貳圓 送料十二錢

特價〆切迫る

茫々三千載、人興り、國滅び、英雄現れ、偉人生ず、吾人西史を繙く毎に、常に無限の敎訓を味はずんばあらず、箕作先生は西洋史界の泰斗。今縱横の快筆を揮ひ茲に此大著を成す。先生の舊著『西洋史講話』に對し本書は實に姉妹卷の關係にあるもの。而も一事一人に就きて特に詳密通俗の記述を以てしたれば、讀者は一個の走馬燈を見るが如き津々たる興味の間に、列國の隆替人事の興亡を目睹する事を得ておのづからにして豐富なる世界的智識を有するに至らん

黒頭巾 横山健堂先生著 (箱入美本七百頁 壹圓廿錢 送費八錢)

增訂改版 縮刷 大將乃木

貴賤の上よりも、血統の上よりも、世田乃木傳中の白眉なりとの公評ある黒頭巾氏の『大將乃木』は、故大將の三年祭を期し、茲に本文附圖に大增訂を加へ、全く面目を一新して江湖に見ゆ。未だ此著を讀まざるの士は勿論、既に舊版を有せる士と雖、亦即刻一本を購うて彌よ高く彌よ堅き大將の風格を偲ばれよ。

幸田露伴博士著 縮刷 賴朝 賴朝を藉りて說かれたる先生の人生哲學 (七十錢 送費八錢)

伊藤痴遊先生著 縮刷 西鄉南洲 巨人南洲翁が天下一品の詳傳 (全三冊)(一二三 壹圓卅錢 三 壹圓廿錢)

伊藤痴遊先生著 快傑傳 (全四冊) 面白くて爲めになる偉人逸話 (一二三四 各壹圓 送費各八錢)

東京日日新聞記者 木造龍藏先生著 奥樣の智惠袋 安價生活簡易生活の最新資料 (美本…正價六拾錢 送費六錢)

三宅花圃女史書簡 齋藤利夫先生編 美本四百卅頁 壹圓 送費八錢

三宅雪嶺 人生訓

好評 忽四版

雪嶺博士の學と識と德とは當代の一偉觀。其一言一句は眞に咳唾珠を成すの觀あり。本書は博士の著書中より博士の許可を得て、人生に關する趣味深き訓言、修養處世に關する有益な金箴數百章を選びたる現代の新論語にして、實に味へば味ふ程甘味あり、世の中の酸きも甘きも噛み分けたる噴古の達人三宅博士が人生哲學の精髓を窺ふ唯一無二の快文字也

能樂大辭典著者 正田梅華先生編

謡方秘訣 謡曲辭典

菊形上製六號活字五百頁 金箔の美本箱入全一冊 正價壹圓五拾錢 一萬部限 特價壹圓廿錢 送費八錢

特價 〆切迫る

本書は『能樂大辭典』の著者として令名嘖々たる正田梅華先生が研鑽廿餘年の苦心を積みて得られたる謡曲界空前の一大著述にして謡曲に關するあらゆる智識を網羅し觀世流を基礎とし他の諸流を參酌して謡方の秘訣、フシの異同、術語道具の說明より、太鼓、鼓の間に到る迄詳細懇切に說明せられたる新著にして、印刷亦一年有餘を費し鮮明なる六號活字に附するに、一々精密なる曲符を以てし内容の精緻、装幀の美と相俟つて眞に謡曲家座右の一大寶鑑たり。一度び本書を繙かば九番習、重習の如き實に易々として會得せられん初心先覺を問はず必ず備ふべき良書也。

發行所 東京牛込見附 (振替東京一七一七 電話番町五三七) 東亞堂 (大阪) 盛文館 輻音社

一冊 僅か十錢

◎敷島一個は煙になる
◎此册一册あれば家内中の樂

特約販賣店 (京城) 大阪屋號。日韓書房。巖松堂

新講演談文庫 各冊長講讀切

一 花川戸助六 (附錄落語 白銅)
二 鼠小僧次郎吉 (附錄落語 酢豆腐)
三 大久保彦左衛門 (附錄落語 京見物)
四 八百屋お七 (附錄落語 三軒長屋)

新刊發賣…郵税一册四錢

(著者) 芦洲・桃葉・文車・談洲・馬生・小さん・つばめ

東京牛込見付 振替東京一七一七 東亞堂 大阪…盛文館

ミルド化粧液

御後援 二條公爵閣下 土方伯爵閣下 大原伯爵閣下

本品は畏くも 皇后陛下を初め奉り 有栖川宮兩妃殿下 梨本宮妃殿下 伏見宮妃殿下 朝香宮妃殿下 閑院宮妃殿下 東久邇宮妃殿下 東伏見宮妃殿下 北白川宮妃殿下 華頂宮妃殿下 山階宮妃殿下 久邇宮兩妃殿下 賀陽宮妃殿下 竹田宮妃殿下 以上各宮妃殿下榮つて御嘉納の榮を賜はりたり謹んで茲に感謝の意を表し奉り併而本品御用者各位に此光榮を頒つ

鍋島侯爵令夫人御詠暗 (ミルド化粧品を愛でゝ)
外國の人もきそひてためすらむ
ならぶものなきこの化粧水 榮子

ミルドは 普通の品と違つて博士中島士が澤山集まつて研究創製した學理的の新化粧料ですから之を用ふれば肌の色を白くしキメを細くしてアレや日燒を防ぎ見違ふばかり美化する偉力を具へて居ますから一度御試用になれば必ず永く忘れることのできない不思議の特効を御認めになります事を保證致しますされば今東京に於ては畏くも高貴の御方々を初め奉り各貴族の御家庭に於て盛んに御賞用遊ばされつゝあります

全國到る所の化粧品及賣藥小間物店に販賣せり若し品切れなれば直接注文あれ

東京 ミルド商會

保證證明 小久保醫學博士 臼杵醫學博士
合議創製 安齋醫學士 瀧原醫學士 吉田醫學士 神谷藥學士 望月藥學士

煙草代用

勇ましい旅裝で

森永ミルクキヤラメルを

行け!山に!河に!野に!

ポケット入 大金十錢 小金五錢

忘れずに
渇を醫しつゝ
元氣を增しつゝ

東京 大阪 森永製菓株式會社

此の商標ある
ひろ〳〵のニセモノに御注意の上
森永ミルクキヤラメルの御愛用を乞ふ